

令和元(2019)年度

柏 葉



札幌市立琴似中学校

平成おやじの会

「柏 葉」

目 次

平成 31 年→令和元年度(2019 年度)	ページ
目 次	1
年間スケジュール	2
本年度を振り返って	
塚本 会長	3
勝田 校長	4
高原 教頭	5
溝端副会長	6
山田(一)副会長	7
水上副会長	8
記念撮影①(2019.4.20 総会)	9
年間行事	
イベント交流(会報から)	10～25
おやじの一日講師報告書	26～45
イベント交流(会報から)	46～54
記念撮影②(2019.12.7 20 周年記念祝賀会)	55
琴似中学校 平成おやじの会 早分かり年表	56～57
奥付、会則(略)、編集後記	58

平成 31 年→令和元(2019)年度 年間スケジュール

2019 年 4 月～2020 年 3 月

行事と事業の数字は日にち

月	行事	環境事業	交流事業	会報(号)
平成 31 年				
4	入学式挨拶 8 総会(区民センター)20			271
令和元年				
5	OB パークゴルフ大会 3 鉄道部 3 役員会 11 登山部 19 校外パトロール 27	芋植え 11		272 273 274 275
6				
7		河畔清掃・焼き肉(合唱部)7		276
8	役員会 10	芋収穫 10		277
9	校外パトロール 3		テニス部と交流戦 21	278、279
10			野球部と交流戦 14 サッカー部と交流戦 26	280 281
11	鉄道部 3 一日講師 17		男子バレー部と交流戦 23 卓球部と交流戦 30	282、283、 284、285
12	20 周年記念祝賀会 7		男子バスケットボール部と交流戦 14 バドミントン部と交流戦 22	286、287、 288
1				
2	令和 2 年だよ第 2 回ポ ーリング大会 22			289
3	「柏葉」印刷 14 「柏葉」製本 28		←新型コロナウイルスのため印刷・製本延期 一日も早い終息を祈る	

時代は平成から令和へ そして平成おやじの会はいつまでも。

第20代 おやじの会 会長 塚本 直哉

娘の入学を機におやじの会に参加をさせていただき今年で3年目が無事終了しました。

振り返ってみると、あっという間の3年間でした。1年目は何もわからず見よう見真似での参加。

2年目は副会長として、1年目の反省もあり余裕の参加。そして今年度は会長と言う大役を拝命し、会も、20周年と言う事で、多忙ながらも充実した1年間を過ごす事が出来ました。各行事も



順調に消化でき、美術部との交流が天候不良の為、女子バレー部との交流戦が諸事情により中止となってしまいました。残念！！(；_；)個人的には反省点も多々ありますが、今出来る事はやり切ったと思います。皆様方の多大なるサポートのおかげで何とかゴールする事が出来ました。☺

役員の方々、各行事で仕切りをして下さった方、勝田校長先生、高原教頭先生（各行事の日程調整ありがとうございました。）、小田島先生、各部活動の顧問の先生方、もちろん各行事にご参加していただいた会員の皆様方、保護者の皆様方、関係者の皆様方、ご協力、大変ありがとうございました。特に20周年記念事業に関連して汗をかいていただいたOBの相沢実行委員長（第10代 おやじの会 会長）、その他の実行委員の方、本当によくやってくれました。👏多大なる感謝を申し上げます。30周年まで待てないので、個人的には、次回は25周年記念やりたいですね！！将来の第25代会長になられる方、宜しくお願いします。こんな楽しい会が20年も続いているなんて、なんて素敵な事でしょう。その理由は何度も言う事ですが、学校側との絶妙な距離感、現役会員の頑張り、そして忘れちゃいけないのが、それらを経験値でゆる～くサポートする偉大なOB会員の皆様方の存在です。これまでこの会に関わられた方々全ての方達にリスペクト申し上げます。私も今年度で娘が琴中を卒業すると同時に現役会員を卒業し、少し寂しいですが、夢のOB会員の仲間入りです。次年度の方々には、しっかりとフラッグを繋げる事が出来ました。これからは、ゆる～く、会をサポートして、楽しく、無理なく参加して行きたいと思います。皆様方、どうもありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、感謝とお別れを直接お伝えできないのが残念でありませんが、この2年間に心から深く感謝申し上げます。

「琴似中学校平成おやじの会」と出会えたことは、人生の一つの宝であり、一つ一つの活動や携わっている方々との出会いは、自分の人生観や教育観、職業観に少なからず影響があったと感じています。本当に2年間、ありがとうございました。

そしてまた、私だけではなく、琴中の子どもたちにとっても素敵な出会いをもたらしていただいたと思います。

11月にある「おやじの会による一日講師」は、国・札幌市が力を入れていくべきこととして示しているキャリア教育・進路探究学習に位置付けていますが、学習指導要領がどのように改訂されようとも、時勢がどのように変化しようとも、それらを超えた意味で実施すべき貴重な取組です。

また、各部活動との交流も、この3年間はサタデースクール事業共催の形で行っていただきましたが、札幌市の事業がどのようになろうとも、そして社会がどのように移り変わろうとも、形を変えようとも、引き継いでいくべき素敵な取組です。

教育業界でよく言われる「不易と流行」という言葉を使えば、その時々で流行を活用しながら、その目指すところ・動機は不易といったところでしょうか。

思い返しますと、昨年度は北海道胆振東部地震があり、今年度は新型コロナウイルス感染症が発生しと、様々な災害や困難が起きています。きっとこれからも常に新しいことや想定しなかったことが起き、子供たちはその一つ一つに対峙し乗り越えていかなければならないでしょう。

そのような時に、心の支えとなるものの一つは温かな思い出や人とのつながりではないかと思います。おやじの会の方々が子供たちにくださった贈り物は、子供たちがたくましく生きていくための基盤となっていると信じています。

今後とも、琴中に子供たちがいる限り、「おやじの愛」を子供たちに注いでいただけますようお願い申し上げまして、寄せる言葉といたします。



冬の寒さが和らぎ、草木には新芽が吹いて、花のつぼみも膨らみを増していく季節になりました。「厳しい冬を乗り越えた先には、花開く春がやってくる」ということは私たち日本人にとって、当たり前と感じられるかもしれません。

昔から、豊かな自然環境に恵まれた日本ではそうした季節の移り変わりを大切にして、その変化を楽しんできました。たとえば和歌に読み込まれた四季折々の情景、季節ごとの年中行事、旬の食材で彩られた食卓などといったもののなどです。そこには自然との「つながり」を感じ、その「つながり」のなかで「生かされている」ということに感謝

してきた、先人たちの心が表れていると思います。現代に生きる私たちも、そうした「つながり」に支えられています。自然観環境だけでなく、人や社会、さらには歴史までも視野に入れた、さまざまな存在との「つながり」があります。

琴似中学校の平成おやじの会の取組を拝見していると、その自然とのつながりと同じようなことを感じてしまいます。二十年の長きにわたり、開設当時の方々が今でも足を運んでいただき、生徒のためにスポーツ交流や1日講師を引き受けいただいていることは、このつながり以外のなにものでもありません。

生徒たちにとっても、自分を支えてくれている様々な「つながり」を再認識し、いっそう強い絆をはぐくみながら、一人ひとりの心豊かな人生と住みよい社会を築いてほしいと思います。そのためにも、今後とも平成おやじの会にご尽力いただきたいと強く思うとともに、自分にとっても実り多い2年間でした。ありがとうございました。



2年前の入学式の日、武田元会長が、おやじの会について熱く語っていた姿が今でも思い出されます。その話に興味を持った私は、娘の入学を機に「平成おやじの会」のメンバーの一員になりたいと希望しました。歓迎会では、OBの先輩方がたくさんいて、和気あいあいとした雰囲気を感じました。このOBの先輩方が長年にわたり、おやじの会を支えてくれたのだなあと感じるとともに、琴中の生徒たちの成長を願う気持ちも強く感じました。

そんな方たちと一緒に活動できることに喜びを感じながらも、一回でも多く活動に参加しなければという責任感も感じました。

今2年間で振り返ると、仕事で思うように活動ができなかった中でも、卓球部との交流戦に参加することができ、卓球が上手いおやじや私のような素人のおやじを相手に、生徒たちが次から次へと戦いたいと積極的に声をかけてくれました。生徒たちのかわいらしさや素直さに触れ、とても楽しい時間を過ごすことができました。

また、久し振りに参加した打ち合わせでは、おやじたちが温かく語りかけてくれ、何より嬉しかったです。

今年は、20年目の佳節を迎えた大切な年に、副会長の大任を拝しました。運営になかなか携わることができなかったですが、塚本会長から毎回様々な活動のお知らせをいただき、おやじたちの活動を目に浮かべながら、活動後の様子も知ることができました。また、塚本会長の優しく温かな一言一言に支えていただきました。ありがとうございました。

おやじの会の魅力は、おやじたち一人一人が「おやじの会」そして琴中を愛し、ゆるい中にも強い信念を持った方たちの集まりなのだと強く感じます。

令和2年は、現役最後の年となります。現役時代にできる「無理せず参加する」の精神を、自分なりに考え琴中の生徒たちと少しでも多くかかわれるよう、また自身の思い出を作れるよう大切に活動したいと思います。

今年1年間、おやじの会を支えてくださった現役会員の皆さん・OBの先輩方、活動への協力をいただいている校長先生、教頭先生、PTAの皆様、本当にありがとうございました。

令和2年も、新しいおやじたちが増え、さらなる盛り上がりを見せることを期待し、おやじの会の発展を願います！



娘の入学と共に、私も「おやじの会」に入会し、2年目となる今年度は副会長に任ぜられました。1年目は程々に参加できていたのですが、今年度は出席率が極めて悪く、完全に「名ばかり副会長」となってしまいました。仕事の都合で普段は札幌にいないこともあり、入会当初からそもそも参加率は悪くなってしまうだろうとは思っていましたが、それにしても最悪でした。運営の協力なども全くできず、申し訳ありませんでした。



そんな中でも2年連続で「一日講師」を務めることができたのは幸いでした。一回目よりも二回目である今年度の方が上手くやれたような気がしますし、子供たちのためになる話ができたとします。自己満足なだけかもしれませんが、自分が満足するために「おやじの会」に参加しているようなものなので、これで良い！！ハズです。。来年度も「一日講師」を引き受けて、今年度以上に満足できるように頑張りたいと思います。

それから、今年度は「20周年記念祝賀会」も楽しかったですね。「名ばかり副会長」は準備作業には参加しておりませんが、当日は全力で楽しませてもらいました。「初心忘るべからず」とか「初志貫徹」という言葉はあるものの、とかく最初の気持ちは薄れて熱が冷めていくものですが、「おやじの会」は20年たっても熱々ですね。もちろん少しずつ変わっていく部分はあるのですが、芯は変わらず続いていくであろう「おやじの会」で、来年度以降も楽しんでいきたいと思っています。

柏葉の発刊、誠におめでとうございます。
また平成おやじの会発足 20 周年、おめでとうございます。

私も記念 T シャツ作りでお手伝いをさせていただきました。

私が琴中平成のおやじの会に入ったきっかけは、自身が卒業した琴中へのリベンジという不順な動機でした。

30 年前、クラス全員からの無視と悪質なイタズラで琴中での行き場を失った私。担任は「いじめは教師の見えない所でやるので」と両親の訴えを退け、私の評価点を意図的に下げ、志望の札幌西高を断念させられ、人生が狂いました。そうです。琴中に恨みを持っているのです。今でも。いじめた奴と、何もしてくれなかった教師や琴中に。



住む環境は最高なのに、陰湿な生徒のいた琴中がもし変わっていないのなら。娘を学校へやる立場となった時に見守れる環境が「おやじの会」でした。

生徒と触れ合いつつも、距離をとって見守る。そして、絶対に無理をしない。できる範囲で、できる事を。

原理原則が素晴らしいと思いました。

今、おやじの会も多くの方が参加されていますが、現役は大変少ない現状です。現役だけですすべての取組みは不可能になっています。OB の皆さんは優しい。お手伝いをたくさんいただき、楽しんでくださる。

運営のやり方を今一度考える時ではないかと思います。

属人化されている取組みを持続可能(誰でも請け負える)なものにする。焼肉の設備や運搬、イモ植え、写真撮影、Web にアップ、どれも一般会員では対処できないです。

そして、会長業務の繁忙さ。これは経験された方しかわからないでしょうし、傍から見ていると、こんな役割やりたくないの一択です。

前例の踏襲ではなく、「できないものは、しないまたは縮小」「鉄道部のようにやりたい人が企画をする」「会長を飲み会の幹事にせず、飲みたい人が予約する」「メーリングリストの活用」「スケジュール調整サイトやアプリの活用」等々、スリム化した改革が必要だと考えます。

不参加でごめんなさいとか、やめましょうよ。

顔を出せなくても、生徒を見守れる何かを。

ただのイベント消化や、煩わしい調整のない、何かを。

「平成おやじの会」スタイルから「令和のスタイル」に変化できれば。もしそこに私が参加していれば、私の琴中リベンジは完結するのだと思います。

最後に。

会長が大変な思いをされているという重荷をそばにいてなんともできませんでした。塚本会長、大変お世話になりました。



会報 平成おやじの会

平成31年度総会&懇親会



塚本第20代会長誕生！



前会長から新会長へ「ましろ Challenge？」の伝達式



塚本会長：私も今年度、現役会員として最後になりますので、1年間しっかり頑張って来年度の方にたすきを渡したいと思います。至らぬ点もあるかもしれませんが皆様の御協力、御支援のほど宜しくお願いします！！

■平成31年度新役員

会長： 塚本さん
副会長： 水上さん、山田(一)さん、溝端さん
広報委員長： 高橋(博)さん(新)
広報副委員長： 熊澤さん、伊藤さん、木下(ピ)、種田さん、牛田さん
環境委員長： 蔵原さん(新)
環境副委員長： 遊佐さん、香西さん
交流委員長： 太田さん
交流副委員長： 川井さん(新)
会計： 武田さん、島田さん
会計監査： 山田(山ちゃん)さん、菊入さん
サポート役員： 内山さん、田中(則)さん、相沢さん、菊川さん、飯田さん



水上副会長

山田(一)副会長

溝端副会長



ましろ校長・高原教頭・横田先生・藤田先生もご参加

平成31年度総会&懇親会



高橋(博)広報委員長



蔵原環境委員長



川井交流副委員長



野田さん



牧さん@やまさ



宮西さん



小林さん



篠田さん



菊川さん



香西さん



N田中さん、斎藤さん



今西さん、飯田さん、種田さん



相沢さん



十良澤さん



太田交流委員長



遊佐さん



山田(山ちゃん)さん



真鍋さん



武田前会長、1年間本当にお疲れさまでした



菊入さん



島田さん、内山さん、木下ピ



菅原(友)さん



伊藤さん



会報 平成おやじの会



おやじ鉄道部

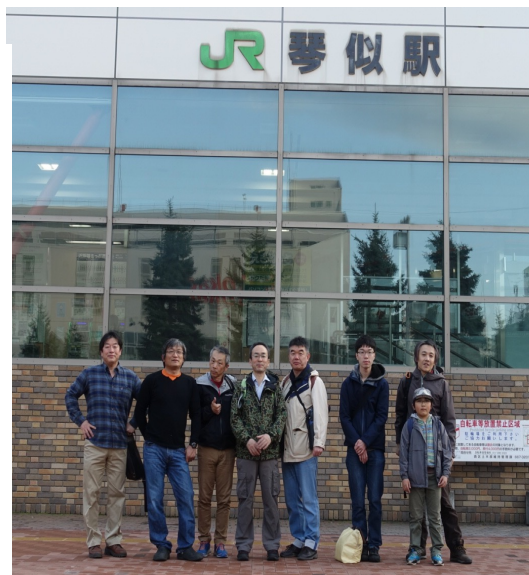
With
ソロキャンプ部

やまちゃんプレゼント

日本一早い最終列車に乗る旅！

スケジュール

琴似(JR) ここに checked in	
6:19発	15:39着
↓	↑
6:25着	15:37発
札幌 さっぽろ checked in	桑園 そうえん checked in
6:39発	15:22着
	↑
	14:52発
	石狩太美 いしかりふとみ checked in
	↑
	11:43着
	↑
7:18着	11:38発
石狩当別 いしかりとうべつ checked in	
7:45発	11:23着
↓	↑
9:28着	10:00発
新十津川 しんとつかわ checked in	



06:00 琴似駅集合

今回は若々しいおやじ（誰に似てるでしょう？）と、ちっちゃいおやじも参加



06:39 札幌駅出発早々乾杯!!



07:45 発新十津川行も準備万端



その頃…サバ缶とミニトマトのミートソースパスタで腹を満たし鉄道部に到着を待ち構えるソロキャンプ部水上さん



種田さんも無事合流



とある乗り鉄アプリの神様ふたり



行先	時刻
6	15
7	16
8	17
9	18
10 00 石狩本町	19
11	20
12	21
13	22
14	23

9:28 新十津川駅着 水上さんと合流も滞在時間はわずか 32 分

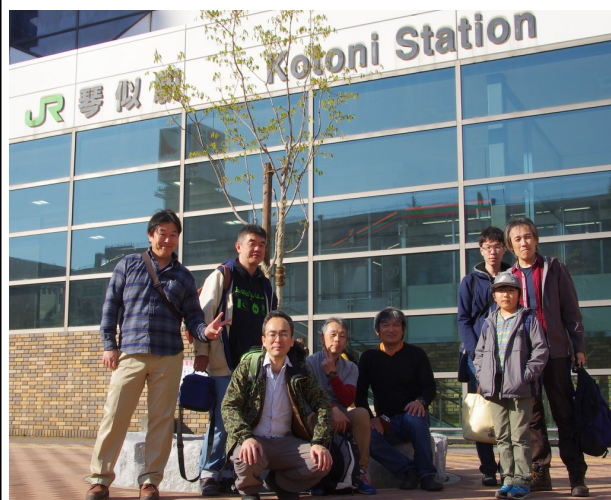


10:00 新十津川駅発 最終列車の乗客は 66 名

11:43 石狩太美駅着
飲んだ後はやっぱり
ラーメン！
移動途中車から手を振っ
てくれていたのに気づか
ず、全く無視してしまっ
た水上さんも再び合流



そしてふとみ銘泉でまったり…



15:39 琴似駅無事到着

まだ陽が高いことなんてもちろん気にせず、お疲れ様会
に突入するのです（終わってもまだ明るい…）



編集後記：初参加でしたが、のんびり行く列車の旅も
いいもんだな～と思いました。と同時に朝っぱらから
飲むというイケナイ世界に足を踏み入れてしまったよ
うな…（伊藤）

会報 平成おやじの会

畑起こしと種芋植え



起こした土の匂い 収穫への期待



♠ おやじの声： 高橋さん

今年度から本会に入会し、初めての行事参加でした。今回のイモ定植場所は、元は花壇ということでしたが、ほぼ芝生と化しており、土起こしの後の草取りに若干苦労しましたが、先輩たちのさすがの手際の良さに関心しているうちに、作業終了となりました。夏の収穫が今から楽しみです！

♥ 編集後記： 起こした土の中から黙々と雑草の根を掘り出すおやじ達。口を動かさず、ひたすら手を動かす。「まるで蟹を食べているときみたい！」との声が。．．蟹、食べたいっす。（熊澤）

<撮影：牛田，熊澤>

会報 平成おやじの会

登山部春の登山@苔の回廊



思わず「すごい！」幻の絶景



<撮影: 菊入、えの、ピ>



■おやじコメント：榎本さん

今月は雨が少なかったせいか、回廊の始まり付近は苔の緑が薄いと言うか茶色！？...

塚本会長やキノピーがガッカリしないか心配でしたが、急登・ロープ場を超えてからは空气が一変！

回廊の中はヒンヤリ、湿気もあり苔の緑が映えて幻想的な雰囲気を感じることができました。

ゴルフシューズで参加の塚本会長、同じくズックで参加のキノピーさん、苔の回廊は如何でしたか？



●編集後記：天気は最高だし、苔はすごいし、露天風呂は気持ちいいし、焼肉はうまいし、蕎麦でめて、この日は何と幸せな日だったでしょう。この時期、支笏湖の水位の関係で、露天の水位も低いそうです。「ハイキング」と聞いていたけど、やっぱり「登山」だった。。。 (ピ)

会報 平成おやじの会

琴似神社祭春祭パトロール



琴似の安全をパトロール



■おやじコメント：稲垣さん

平日月曜日の忙しい中、9名のおやじが集まりました。例年以上の気温で、暑い日となり祭りに来ている人たちもいつも以上に多かったように感じました。いつものように(?)二手に分かれて巡回しました。小生は初めての活動参加でしたが、地域活動の一端を肌で感じ、意義深い時間となりました。皆さん、大変お疲れ様でした。

<撮影：塚本、武田>

会報 平成おやじの会

合唱部と琴似発寒川清掃&焼肉



川はきれいに、心もきれいになったかな!?



まずは準備と・・・



さすがの手際の良さですねえ！

合間に教頭先生と談笑

(続)琴似発寒川清掃&焼肉



合唱部到着。まずは河畔清掃頑張って！



「焼きマッシュマロ」は別腹🍡



清掃おつかれさま！さあ、おやじの心のこもった焼肉でおなか一杯になってね！

最後に合唱部から美しい歌声のプレゼント！



■参加者コメント：合唱部長 小林さん

先日は初夏の爽やかな風の吹く中、私達との交流の場を設けてくださりありがとうございました。毎年音楽祭でお世話になっている発寒川公園の清掃で汗を流したあとの焼肉の味は格別なものでした。いつも様々な面から琴中合唱部を支えてくださりありがとうございます。大会に向けて部員一同精一杯頑張っていきますので、これからも応援よろしくお願いします。

■おやじコメント：川井さん

天候に恵まれ大変暑い一日となりました。参加されたおやじの皆さんお疲れ様でした。焼肉準備では、日頃の運動不足もあり大量の汗をかきながらの作業となりましたが、合唱部の生徒から「お肉ください」、「ありがとうございます」と言ってもらえると大変うれしいものですね。暑くて川に入る生徒が多い中、びしょ濡れになっていた合唱部の飯尾君がいい味を出して場を盛り上げてくれました。最後は、歌のプレゼント。合唱部の歌を初めて聞いた私にとって大変感動的でした。また、今日が誕生日の教頭先生へのハッピーバースデーの合唱では、照れながら目尻が下がっている教頭先生の姿も拝見することができました。おやじ一同、合唱部の今後の活躍を期待しています。全国の切符を手にするよう頑張ってくださいね。

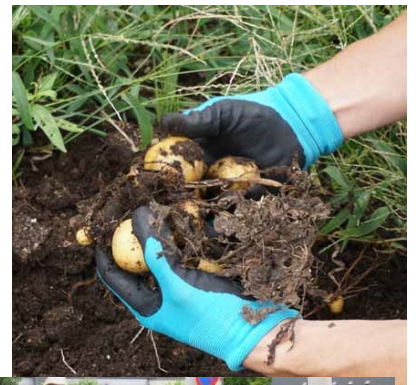
●編集後記：今回も沢山のおやじ達の連携プレーで和気あいあいと開催することができました。校長先生・教頭先生もご参加いただき、最後には合唱部の爽やかな歌声も聞かせてもらい、おやじ達、感謝感激！ 当日、誕生日で合唱部からバースデーソングをプレゼントされた教頭先生の「できることから、先生、君たちの年齢に戻りたい！」との言葉がおやじの胸に響きました（笑）（高橋）

会報 平成おやじの会

芋掘り



おやじたちのジャガイモだ！



♥ 編集後記

<撮影：牛田，伊藤>

5月11日(会報 No.273 参照)に植えたジャガイモを三か月後に収穫しました。私はこの間草むしりもせず、植えるときに掘るときにしか「おやじの畑」に来ませんでした。先輩方のお力添えで無事に収穫ができて何よりです。掘ったイモはおいしくいただきました。

<熊澤>

会報 平成おやじの会

琴似神社祭パトロール



眼光鋭く！『本日も異状なし！』



会長より巡回ルートの説明



♠ おやじの声： やまちゃん

ゆるいおやじの会にあって、最もゆるい行事とのうわさもある琴似神社祭りパトロール。パトロール初参加の新人川井さんを含む8人のおやじ達が集まりました。旧5号線側からスタート。琴似神社で琴中の子供たちの健やかな成長と、おやじの会の発展を祈願した後、パトロール続けましたが、ケンタッキーの前で「これ以上先は混むから」とゆる〜く終了。一部有志は反省会。お祭りの混雑を避け、裏通りの昭和の**値段と**雰囲気の赤ちようちんでゆる〜く語り合いました。

♥ 編集後記：平日にもかかわらず多くの人出の中、巡回しました。その後の反省会、はしご酒での意見交換は、大変実りのあるものでした。（熊澤）



会報 平成おやじの会

ソフトテニス部と交流戦



秋晴れの下 爽やかに汗を流す



【参加者のコメント】

☆ソフトテニス部 部長 木下 芽愛さん

おやじの会の方々へ

この度は、おやじの会・ソフトテニス部との交流会に参加していただき、ありがとうございました。なかなかこのような機会がないので、おやじの方々と試合ができて嬉しかったし、とても楽しかったです。おやじの方々は皆さん強く、良い勝負になったのではないかなと思いました。また、負けても勝っても仲間同士で笑いあっているおやじの方々の姿を見て、ご自分では意識していないのかもしれませんが、良い雰囲気作りをされているなど感心しました。私たちもそんな皆さんの姿を見習って部員全員で大会に向けて良い雰囲気を作っていこうと思います。誰もけがをせずに交流戦を終えられて、とても良い試合だったと思います。私たちがいつも暖かく見守ってくださりありがとうございます。これからもどうぞ宜しくお願いします。

★おやじ 菅原 友彦さん

<撮影：伊藤>

快晴の中行われたテニス部との交流戦は意外にも(?) オヤジ達の頑張りで勝利した回数が多かった気がします。1セット先取でオヤジ達はトリプルフォルトまでOKというハントはありましたが楽しい時間を過ごす事が出来ました。ありがとうございました。

1、2年生のみなさん、3年生達があと一歩届かなかった全市大会を目指して頑張ってください。応援しています。

(足がもつれて転んだオヤジより)



◎編集後記 絶好のテニス日和でした。塚本会長デザインの20周年記念Tシャツ気づきました?とてもカッコいいですよ。皆が揃うと更に! 追加発注可能とのことですのでご希望の方は会長までどうぞ。1着2,000円です。(伊藤)

会報 平成おやじの会

野球部と交流戦



秋晴れの空の下、白球を追いかける



「よろしくお願いします」



塚本会長、始球式「ナイスボール」



(続) 野球部と交流戦



見よ、この力強いスイング。これがおやじの底力ダァ！次の日の腰がちょっと心配？



みんなナイスプレー！来年が楽しみですな♪



お母さん達、美味しい焼きそばと豚汁ありがとうございました！

■参加者コメント：野球部長 吉本さん

おやじの会との戦いでは、一人一人が自分やチームの未熟さを知り、良い刺激になり、来秋はおやじの会の皆さんに一年間の成長を見せて、勝ちたいと強く思いました。
皆さんの期待に応えられるよう、冬、春と一生懸命練習に取り組みますので、応援よろしくお願いします。

■おやじコメント：藤原さん

1年4組藤原健伍の父、藤原伸保です。
長男が卒業してから4年ぶりに交流戦に参加させていただきました。
試合としては人生初のマウンドにも立たせてもらい息子とも初対決。対決の結果はピッチャーフライで勝利。
打者としても息子と初対決。結果は奇しくもピッチャーフライで負け。
交流戦の後は母たちが準備してくれた、おいしい豚汁、焼きそばいただきました。ありがとうございました。楽しかったです。

●編集後記：台風一過の爽やかな秋晴れの下、沢山のおやじたち、また OB を含めた若者の協力もあり、ハツラツとしたプレーで盛り上がりました。1試合目はおやじチーム、2試合目は中学生の勝利で、ともに「ONE TEAM」の心の通った連携プレーも飛び出し、楽しい交流戦となりました。まだまだ部活動との交流戦は続きます。おやじ達、体のケアは怠りなく（笑）（高橋）

〈撮影：牛田、高橋〉

会報 平成おやじの会

サッカー部と交流戦!



おやじの会創立 20 周年記念

ビューティフル **ゴォォォー**ル!



■参加者コメント：サッカー部長 加藤さん

お忙しい中、足を運んでいただき、有難うございました。サッカー部共々良い交流の場とすることができたと思います。普段は大人の皆さんとプレーすることがない僕たちにとって、おやじの会や琴似ユナイテッドの皆さんとプレーできたのはとても良い経験になりましたし、流石は大人のプレーだなと思わせてもらえるようなプレーを沢山見ることができました。

今年、琴似中サッカー部は中体連全市大会出場という成績を収め、今の代には中体連三回戦進出という成績を超えてもらいたいと思います。これからもサッカー部へのサポートと応援をよろしく願いいたします。

■おやじコメント：斎藤さん

「(おやじの会創立) 20 周年記念ゴールを決めるぞ!」との塚本会長の号令で円陣を組んで気合を入れました。その結果ナイスなクロスにチョイ当てごつつあんゴール (62 歳更新) を今年も得ることが出来ました。皆さん怪我無くサッカーを楽しませて頂きました。部員の皆さん&先生方&福井さんどうも有難うございました。Enjoy !playing soccer forever.



●編集後記：三角山の紅葉に癒されながらのサッカー部との交流戦、おやじ達は無得点が続き、最後のチャンスに賭けて挑んだその瞬間、斎藤さんのメモリアルビューティフル GOAL! あらためて「継続は力なり」を学んだ一日でした。ブラボー!! (高橋)

〈撮影：牛田、高橋〉

会報 平成おやじの会

おやじ一日講師



今年も魅せた『おやじ魂』

クラス	講師	テーマ
1校時	1-1 塚本 直哉	建築士のお仕事
	1-2 菊入 崇	生き物と歯の形について
	1-3 種田 英朗	西区のここが好き、ここが嫌い
	1-4 尾関 俊浩	なだれって知っていますか？-雪崩に遭わないための防災学習-
	1-5 芳沢 文明	残念なヒーローたち
	1-6 島田 亮	ちょっと変わった特別授業
	1-7 石橋 明浩	マツコの知らないお弁当の世界
2校時	9 芳沢 文明	残念なヒーローたち
	2-1 大沼 洋則	病院でコンピュータって何に使っているの？
	2-2 水上 元幾	プレゼンテーションについて
	2-3 相馬 満	またまた？科学技術入門編-意外に身近な科学技術-
	2-4 山田 一也	働くという事
	2-5 瀬川 亮太	私が人生で学んだこと(おやじのひとり言)
	2-6 飯田 聡	ブレインアップデートの手法で自分軸を整えよう
3校時	3-1 牛田 健一	災害対応ゲーム「クロスロード」
	3-2 木下 浩司	もっと知りたい「エネルギー」のこと
	3-3 平田 直之	知ってほしい緊急医療のこと
	3-4 菊川 義信	大豆の大事な話
	3-5 田中 則和	土木って知っていますか？
	3-6 武田 勝	中学生の時の夢はどうなった？-夢とキャリアの話-



授業前の緊張のひとつ



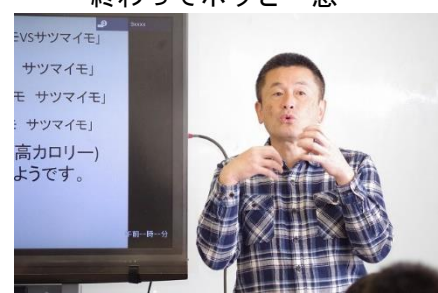
終わってホッと一息



本格的！



雪崩の模型？



芳沢先生ダブルヘッダーお疲れさまでした。貴様の授業

■おやじの会最大イベント「一日講師」が今年も開催されました。太田さん直前キャンセルの穴を芳沢先生に直ぐに埋めて頂き、今年も無事終了しました。現役7・OB10・外部3の面々でした。現役がんばろう(ピ)

1年1組

メッセンジャー:塚本 直哉

表題:「建築士のお仕事」

趣旨:建築士と言う職業がどのような仕事内容かと言う事を生徒達にカッコよく伝えたる事。

終えての感想:

さすがに1日講師も3年目になると 手慣れたもので過去2年と比較しても一番 良かったです。

プレゼンボードや写真 図面 DVD等を活用したのがやはり良かったようです。

生徒達の反応も良く 落ち着いて出来たのですが、逆に最後 時間が少し足りず 尻切れトンボになってしまったのが反省ポイントです。総評としては おおむね 生徒達に伝えたい事は出来たのかと自己満足をしています。



■ 生徒限定の感想:

- ・ 難しそうな内容もTVを使って、簡単に教えてくれて とても分かり易かったです。お客様の希望通りになる様に、何十枚も図面を書き プレゼンも何度も何度も行っている大変さに感動しました。設計図とほぼ同じ建物を色々検討しながら 建てて行く事はとても大変そうだけど 楽しそうだと思いました。自分も大人になったら 理想の家を建てられたらいいなと思いました。
- ・ 私が1番心に響いた事は「お客様の思いに答えられるように何度でも図面を書く」と言う事です。私の家を建てた時も時間をかけてたくさんの図面を書いてもらいました。今回見せてもらった図面でも 配置が全然違ったり 広さを変えたりと工夫や苦労が感じられました。
- ・ 家がどのように出来上がるのかが面白く 勉強になりました。工事中の写真などで こんなに沢山の大きな作業をしている事が分かりました。
- ・ ミニバスコートがほしい。カフェをやりたい そんなお客様の願いを叶えようとする気持ちが1番心に響きました。どんな願いでも叶えられない事はないと思います。そんな事に勇気をもらいました。
- ・ 僕はバスケットボール部に入っていて ミニバスが出来る体育館の有る家がとても羨ましく思いました。
- ・ 災害に便乗した詐欺の事を教えて下さり 建築が専門的なお仕事になっているのでその辺が影響しているのかなぁと思いました。他にデザインの話も センスが必要だなぁ と思いました。
- ・ 今まで建築の仕事には 興味がなく 知識もなかったのですが 本日は色々な事が解りました。設計図は1枚書いたならそれでもう終わりと思っていたのですが お客様と何度も打ち合わせをして 試行錯誤を重ね 最終的に出来た図面から建てて行く事はとても道のりが長い物だと実感しました。又 実際に建設予定地で打ち合わせをしてお客様にどのようになるのかを説明してイメージが湧くように工夫もされていて素晴らしいと思いました。
- ・ 震災サギの話では その場で契約しない！ 複数の業者に聞く事！を日常的に気を付けたいです。
- ・ どのようなデザインがいいのか？どんな部屋にしたいのか？ お客様の願いを叶える為に一つ一つの事を考えて形にして行く建築士のお仕事は すごいと思いました。

1年2組

メッセンジャー: 菊入 崇

表題:「生き物と歯の形について」

趣旨:

たまごを使った実験や、歯の進化などの話をしましたが、伝えなかったことは、自分の持っているフィールドの知識を通して、知識の蓄積ではなく、物事の見方や考え方を学んで欲しいと思っていました。自分の真意を的確に感じとって、感想に書いてくれた生徒さんがいました。下記の感想の太文字の所です。嬉しい限りです。



終えての感想:

安堵(この一言)。

■ 生徒限定の感想:

- ・「おやじの会」の授業は、初めてでどんなことをするか分からず、キョトンとしていましたが、歯の作りなどの説明をていねいにしてくれたり、実際に実験をしてくれたり楽しい授業でした。

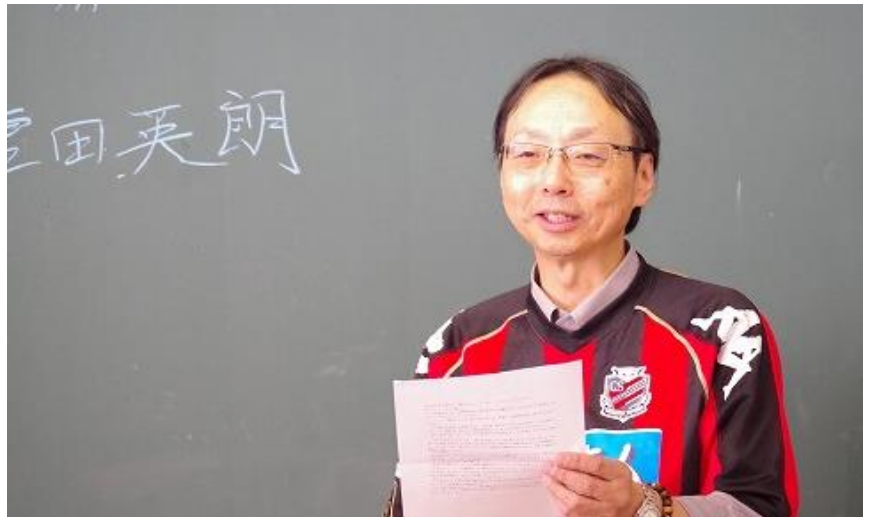
実験では たまご 酢でできる者で簡単な実験で 家族や友達とできるようなものでとても身近に感じることができました。とても難しい内容でしたが、写真や図を使って説明してくれたので理解の遅い私でもすぐに理解し、話を聞くことができました。普通の授業では習うことがないような、今まで考える機会がない内容でしたが、多くのことを学び、物事について深く考える事が出来ました。

- ・ 生き物ってやっぱり面白いなと思いました。歯一つ取っても、歯がない生物もいれば、爪のような歯を持つ生物、すぐ生え替わる歯の生物、人間のような歯の生物など、生き物などは今までにいろいろ進化してきたのには、理由があるのだと感じました。
- ・ 「生き物と歯の形について」を学んで虫歯の怖さや、動物によって歯の形が全然違うということを深く学ぶ事が出来ました。うなぎの歯から始まって今の動物の歯にたどり着いたことを知ってもっと詳しく調べてみたいと思いました。

メッセンジャー: 種田 英朗

表題: 「西区のここが好き、ここが嫌い」

趣旨: 札幌市西区の特徴を4人1組のグループで考えながら、それぞれの「ここが好き、ここが嫌い」を発表してもらいます。そこからこのクラスが考える地域の良いところ、悪いところ



ろが浮かび上がってきます。良いところはどんどん伸ばして、逆に悪いところはどうやって改善していくかを全員で検討します。自分たちが住む地域の実情解明をきっかけに、今度は北海道全体、日本全体、世界のことを考えます。最後に中学一年生が勉強に取り組む意味、将来の目標をお聞きます。

終えての感想: 過去の教室では講師の私が一方的に話す形でしたが、今回、他の講師を参考にグループ討議を取り入れたところ、これが大正解。表題を考えながら、生徒が発表する場を作ることができ、皆さん、生き生きと自分たちのマチの良しあしを考えてくれました。感想の中身も多彩で、読むにつけてワクワクして、楽しい時間を過ごすことができました。担任の先生は社会が専門で、先生歴4年目のフレッシュな方でした。私事ですが、私は中学校時代に佳き社会科の先生に恵まれ、それが進路を決定する下地となったことを思い出しました。このような機会を与えていただき、校長先生はじめ皆様、ありがとうございました。

■ 生徒の感想:

- ・ 西区の良いところ: 交通機関が整っている。自然豊か。病院が多い。買い物に便利。悪いところ: 坂道が多い。カラスが多い。スキー場がない。大きなスーパーがない。除雪が悪い。冬道は歩きづらい。
- ・ 北海道の人口が減少していくことを知って、北海道で働こうと思いました。時間がなくて新聞は読まないけれど、見出しだけでも見てみようと思いました。
- ・ 名古屋や東京の北海道移住ブースではたくさんの人が来ることや、人口の話、新聞の見出しの話などたくさん、しかも詳しく丁寧に話してくれてありがとうございました。とても分かりやすかったです。興味がわいたので、もっと西区について知らべてみようと思いました。
- ・ 考えるだけで胸がいっぱいになるととても濃い時間でした。頭の良い人と悪い人との違いについてで「人には得意、不得意がある」という言葉を聞いて、とても自信ができました。
- ・ 当たり前で過ごしている西区のことを深く考えてみると、たくさんの意見、要望が出て参考になりました。
- ・ 種田さんが紹介してくださった大人の意見も私たちと同じようなものが多くてびっくりしました。北海道に住んでない人の気持ちになって、北海道の魅力(例えば食べ物がおいしいとか、物価が安いとか)について、再び考えることや郷土について考えるきっかけとなりました。
- ・ 日本の未来について考え、私も北海道を支える一人になりたいと思いました。
- ・ 西区の悪いところがなくなれば良いなと思いました。東京で北海道に住みたいという人がたくさんいて、とてもうれしく感じました。札幌に限らず北海道は空気もきれいだし、とても良いところだと思います。もっと他所からたくさんの方が来てくれたら良いなと思いました。
- ・ グループで話し合っって他の人の意見が聞けて良かった。
- ・ 僕も大人になったら北海道に人を呼び寄せたりする活動を応援していきたいです。

メッセージ: 尾関 俊浩

表題:「なだれって知っていますか? -
雪崩に遭わないための防災学習 -」

趣旨:

大学で雪崩や積雪の研究をしています。かれこれ四半世紀雪崩安全講習会に携わり、啓発活動が北海道内
にずいぶん広まったと思っていました
が、2017年に那須で発生した表層

雪崩では、登山研修中の高校生ら8名が亡くなるいたましい結果となりました。これは教育に携わるものにとってたい
へんショックであり、この事故を未来の若者のための教訓とするには、ユース向けの雪崩の安全教育が大切であるこ
とを痛感しました。そんな折りに、おやじの会のメンバーからこのお話をいただいて、今回は防災学習の観点から中学
生向けのプログラムを作ってみました。表層雪崩の発生メカニズム、雪崩に遭わないために、雪崩に巻き込まれたら
を内容に入れましたが、特にクラスに持ち込んで行う表層雪崩の発生(弱層の破壊)の模型実験に力を入れています。



終えての感想:

中学校理科では2年生の気象で雪の結晶のことを学んだり、3年生で摩擦の働く運動を学んだりしますが、1年生
ではまだ知らないです。破壊現象についても表層雪崩の弱層についても、もちろん中学生は知らないと思い、いま
の知識でも理解できるような構成としました。ビデオで実際に表層雪崩が起きるシーンや流れ下るシーンを見たり、演
示模型で「スカスカの雪の層」が壊れる様子を実感したりすることで、雪崩という現象をイメージできるように心がけま
した。防災の学習では来春から教員になる蟹谷さんがクイズ形式の授業をしてくれました。生徒たちは初めて聞く話
にもかかわらず、よく集中して、雪崩の基礎知識について理解してくれていたようです。

■ 生徒の感想:

- ・ 僕の中で一番印象に残っているのは、雪崩がおこるとき弱層がつぶれるようなかたちでおこるということです。テレビではしょうげき映像などでしか見たことはありませんでしたが、この授業でよりくわしく知れました。
- ・ 授業では、雪崩の模型を使っていて、とても分かりやすく、雪崩のことについて夢中になるくらい楽しい授業でした。
- ・ 弱層がくずれることで雪崩が起こることが分かりました。雪崩の実験装置ではペットボトルを置いた瞬間に「バキッ」と音がしてびっくりしました。雪山でもあんな感じで音がしたら雪崩が起きると想像が付き少し怖かったです。
- ・ 雪崩の動画はスキーやスノーボードが上手な人でも中には新幹線くらいの速さの雪崩もあるので巻き込まれてしまったらパニックになってしまうかも知れないということが分かりました。
- ・ 雪崩は風やしんどうでやわらかい雪が落ちてくると思っていました。だけど、雪崩がどうしておこるのか教えてもらって、雪崩のおきる条件はこんなだったとは、思ってもいませんでした。
- ・ いままで、そんなに多くは知らなかった雪崩。でも、今回雪崩についての知識が、たくさん身につきました。今回の授業で、一番すごいなあと感じたのは、「雪の結晶」についてです。自分も外で雪の結晶を見たことがあります。
- ・ 雪崩はでかい山でおこるものだと思っていたけど道ぞいにある大きい雪の山が少しくずれても小さいけど「雪崩」なので意外と身近に雪崩はあるということが分かりました。
- ・ どうして雪崩がおきるのか、雪崩にあわないためにはどうしたらいいか、雪崩にあった時優先することなどためになったものばかりでした。(中略)今日こういう知識を学べたのでさっそく家族におしえてみたいなと思いました。

1年5組

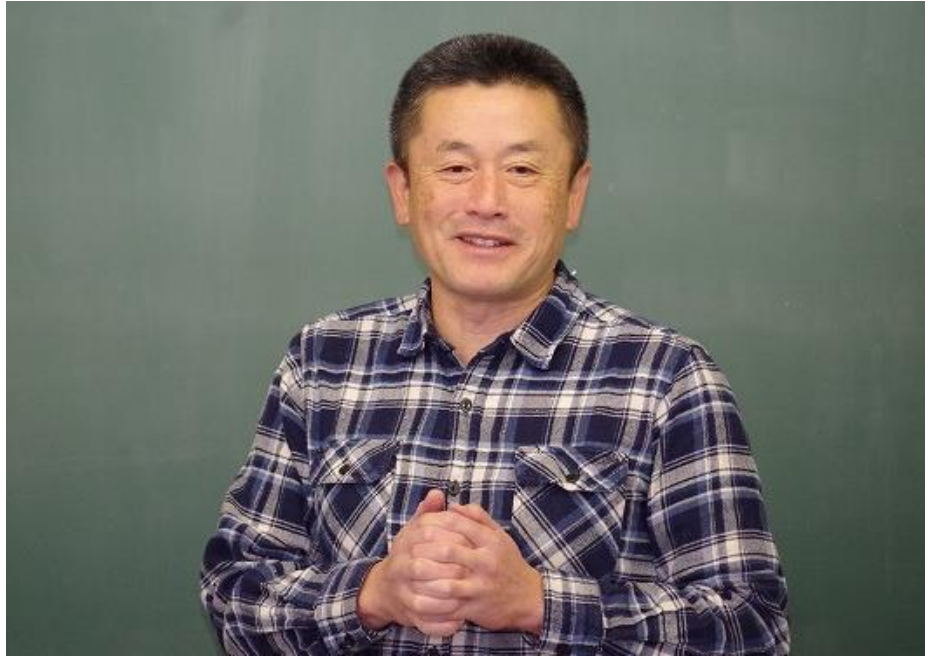
メッセンジャー: 芳沢 文明

表題: 「ざんねんなヒーローたち」

趣旨: 高校の地理の授業を、中学生向けにアレンジ。桃太郎の意外な素顔を明かします。

終えての感想:

去年の一日講師の時より、積極的に話に参加してくれた生徒が多いように感じました。外国人の子でもわかるような内容で、わかるような話ができればよかったと反省しています。



■ 生徒限定の感想:

- ・ 桃太郎が意外にサイコパスで鬼を倒していて面白かった。
- ・ 値段が安くて栄養が少ないものはだいたい育てやすいことがわかりました。
- ・ 実はクラークは日本を見下して米をバカにする最低(?)な人だったと知り、様々な観点から物事を考えようと思いました。
- ・ 「おやじの会」は初めてでどんなことをするのかわからず楽しみではなかったけど、良かったと思います。
- ・ ヨーロッパの主食がパンなのは気候の影響だと聞いたのは初めてでしたが、話がつながって理解できました。
- ・ きびだんごで動物を従え鬼退治に行った桃太郎には、邪悪さのようなものが感じられるようになりました。
- ・ 桃太郎の歌の 5, 6 番は、桃太郎の本性が出てきて面白かったです。
- ・ 人工サツマイモの話は、職人さんのこだわりを感じました。
- ・ 雑草を食べても体に害がないことがわかりました。でも動物の糞尿などがかかっているといけないのでやめときます。
- ・ ほんとうのトウモロコシは輸入品だと気づけて良かったです。

1年6組

メッセージャー: 島田 亮

表題:「ちょっと変わった特別授業」

趣旨: 遊びながら学び、学びながら遊ぶ!! ひねくれた問題に対し、仲間達と「あーでもない、こーでもない」と話し合いながら答えを導き出せ! 難問が解けたときの閃きをおおいに感じてもらいたいと思います。



終えての感想:

今回3回目の講師挑戦。前回、前々回に引き続き、またもや遊んでます。

いやあ、1年生は元気があってすばらしい!! とても一所懸命とりくんでくれたように思いました。

一応、『にぎやかに』をモットー? に授業を進めてたつもりでしたが、予想以上ににぎやかになってたように思います。1時間じゃ足りなくも感じますね(笑)。

よくよく考えてみたら、子供達の笑顔で癒されたくて一日講師をしてるのではないか!? そう思ってしまうほど、生徒たちは良い笑顔で授業を受けてくれました。

次回は、参観している父母の方々も巻き込んだ授業(という名の遊び)をと、勝手に模索中です。

■ 生徒限定の感想:

- ・ みんなとワイワイガヤガヤ遊べてとても楽しかったです。この楽しさを忘れないでこれからも勉強も遊びもがんばっていきましょう。
- ・ 問題の手順が理解できたときのうれしさや達成感が良かったです。いつもの授業と違って、遊んで学習できることが面白かったです。
- ・ チームワークとひらめきを使う難しい問題が多くてついていけませんでしたでしたが楽しく取組めたと思います。班の人達の発想がすごく、見直す人もいてびっくりした1時間でもありました。
- ・ 今回の授業は、気づくことやひらめきを起こすことなどの大切さがわかったので、今後の生活でもひらめけるようにしてみたいと思います。
- ・ 新しいグループでの会話ができたり、面白い授業の中で、ひらめきがあったクイズがあったことがとても面白かったですし、またやってほしいと思いました。
- ・ 後期に入って班が変わり、なかなか慣れることができませんでしたが、今日、島田先生の「ちょっと変わった特別授業」で少し仲が深まったと思います。島田先生からだされたマッチ棒のクイズはむずかしくはありましたがわかったときの快感もまた、楽しかったです。
- ・ 問題が難しかったので分からなかったのですが、答えが分かった時は、すごく「あーっ!!」ってなりました。こんなに授業で、楽しいって思うことがなかったのですごく楽しかったです。
- ・ 今日の授業で、私自身で答えにたどりつくことはできませんでしたが、班全員で考えることで、よりチームワークが高まったと思います。これからも遊びの中に新たな発見を見つけ、視野を広げながら過ごしていきます。

1年7組

メッセンジャー:石橋 明浩

表題:「マツコ知らないお弁当の世界」

趣旨:NHK 総合「サラメン」の出演映像を題材に、日本全国の郷土料理の特徴や地理的特性を紹介するとともに、物事に取り組む姿勢(準備や段取りの大切さ)を伝える

終えての感想:放映された番組を実際に観ていた生徒もいて、お弁当という身近な題材だったこともあり、興味深く聞いてくれたようでした。食品ロスや食糧安全保障など用意していた話の半分も紹介できなかったため、もし次回も機会があれば工夫したいと思います。



■ 生徒限定の感想:

- ・ 最後に言っていた「段取り八分」を忘れないように頭に入れます
- ・ このように面白い発想が世界にはまだまだあるのだと思うと興味深いです
- ・ なぜ昆布が取れないのに、という謎からその時代の歴史までをよみとることができて郷土料理って奥深いんだな、ともっと知りたくなりました
- ・ 話の最後に、どんなことも準備が大切とおっしゃいました
- ・ これからの学校生活につながりそうなこと、また、たくさんの県(都道府県)のお弁当も本当にすごいと思いました
- ・ 最後に話していた「やる→できる→面白くなる→もっとやる」ということをこれからの生活に生かしていきたいと思います
- ・ 1年に何回かは自分でお弁当を作ったり、家族分のごはんを1品でも作りたいと思いました

9組

メッセージャー: 芳沢 文明

表題: 「ざんねんなヒーローたち」

趣旨: 高校の地理の授業を、中学生向けにアレンジ。

桃太郎の意外な素顔を明かします。

終えての感想: 1 時間、みんなが集中して話を聞いてくれたので、うれしく思いました。



■ 生徒限定の感想:

- ・ 芋が大好きなので、話してくれてうれしかったです。
- ・ じゃがいもとサツマイモがまったく違うと感じました。
- ・ サツマイモの栄養価が高いことがわかりました。
- ・ クラーク博士は良い人だと思ったらひどくて悪い人だと感じました。
- ・ 桃太郎は良い人だと思っていましたが、強盗のような人だと思いました。
- ・ 桃太郎の歌が 6 番まで続いていてびっくりしました。

◇2年1組

◇メッセンジャー：大沼 洋則

◇表題：「病院でコンピュータって何に使っているの？」

◇趣旨：

670床の病院施設において様々な職種の人たちが働いているという事実や1人の患者を治療するのに関わっていく様子、その人達が使うコンピュータシステムの紹介やサーバ室の様子を動画で披露
また、コンピュータを利用している環境においても人と人とのコミュニケーションの大切さやチームビルディング（タックマンモデル）について簡単に紹介。



◇終えての感想：

講師の体調が良くない状況での発表となってしまう、聞いて頂いた皆さんには本当な事をしたと深く反省しております。鼻声と咳のつくなかマスク姿で声が聞きとりづかったことでしょう。体調管理が出来ておりませんでした。

そんな中、生徒の皆さんは真剣に最後まで私の「へたくそな話」を聞いていただいたことに本当に感謝です。

時間が足りず、最後のコミュニケーションのところは駆け足になってしまい、もう少し話したかった内容でした。

ほんの少しでも病院という場所について理解を深めていただけたら幸いと感じております。

そして、ひとりひとりからの丁寧なお礼状を頂きました。これは私の宝物になりました。ありがとうございます！！

◇生徒限定の感想：

- ・ 1人が病院にかかると、その人のために、たくさんの人手や手間がかかることを知り、私はできるだけ病院にかからないように健康でいようと思いました。
- ・ 将来、もしかすると病院関連のお仕事につくかもしれないので今日教えてもらったことをしっかりと活用していきたいと思います。
- ・ 災害時もバッテリーによって常に動いているし、セキュリティもしっかりしているし、サーバによって病院が成り立っていて、その管理をしているのは改めてすごいと思いました。
- ・ 大きさはさまざまな病院でも人間同士のコミュニケーションが大切ということが分かり、私も積極的に話したりしてコミュニケーションをとっていきなと思いました。

メッセージャー: 水上 元幾

表題: 「人に伝え、理解してもらうには」

趣旨: 自分の思いを相手に伝えるために、「5W1H」を用いる、また仲間の文章を仲間の思いを汲みつつ自分の言葉で表現する事を実践交えながら伝える、元・琴中生、魂の授業。



終えての感想: 緊張感をほぐすためのアイスブレイクにグループ内での「朝食自慢」を取り入れ、笑いが自然と起こるようになり、興味を持って話を聞いてくれた印象。失敗や発表が難しい状況でも仲間を助ける姿は、さすが2年生。身近に起こり得る話題を例題にした(バナナ校則やわがまま誕生パーティ)ことで、よりリアリティを感じ、集中してくれた模様。飽きさせない取組みとして、グループで座る、プリントを配る、身振り手振りのオーバーアクションが奏功した。観覧の保護者の方を巻き込んでクイズをする(単なる英単語クイズ)等、工夫できる部分はすべてやりきることができた。クラスの生徒から「次年度継続」の要望をいただいたので、次年度もこのクラスで「続きの授業」をしたいと感じた。

■ 生徒限定の感想:

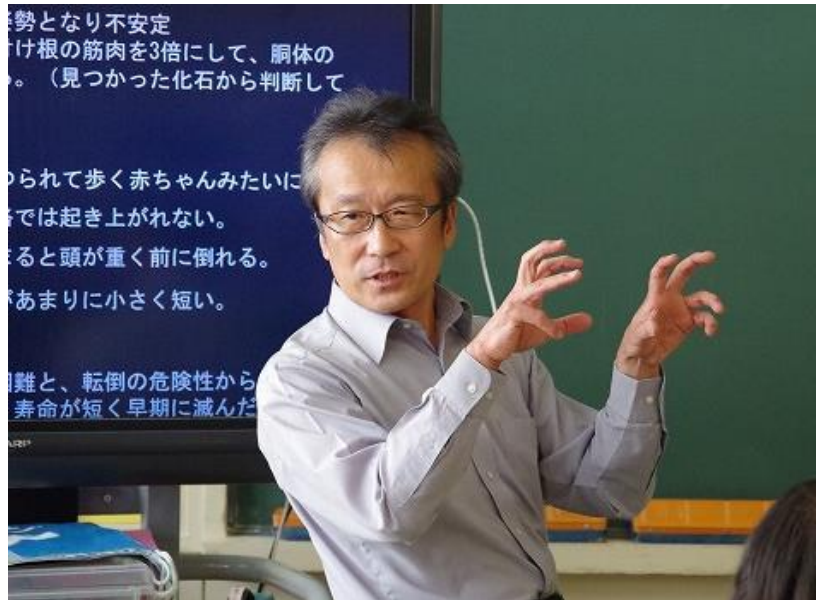
- ・ 今回の授業で「相手に伝えることこそが本当のスピーチ」であることを学びました
- ・ アドバイスを意識したら、少し皆の前で話す楽しさがわかりました
- ・ 普段の授業ではやらないけど、生活でありえそうな話だったのでとてもいい経験になりました
- ・ 水上さんの話はとてもおもしろく、抑揚があつてとても耳に入って来やすかったです
- ・ 教わった発表の仕方を3時間目の英語のスピーチで実際に使ってみて、うまくできました!
- ・ グループで話をしたり、チャレンジ問題をやったりして、自分自身少しは成長できたと思います
- ・ また来てください!
- ・ 熱く、楽しく授業をしてくれたおかげで、楽しい時間を過ごすことができました
- ・ とにかく印象に残っているのは「5W1H」です
- ・ 是非また授業を受けたいです。それまでにレベルアップしたクラスの姿を見せられるようにしたいです
- ・ 水上さんも緊張すると言っていたけれど、堂々としていて会社でもしっかりしてる人なんだなと思いました
- ・ 琴中を卒業しているということで親近感もあり、楽しかったので、この機会を無駄にせず頑張ります
- ・ 「人に話すときのコツ」「内容がわかりやすい話し方」は、社会に出たときに必要なことを学びました
- ・ 黒板に書かれたメニューで、「おやじの会の授業楽しみ!」という気持ちを超越する楽しい授業でした
- ・ 普段自分がどうやって文章を書いているのかがよくわかりました
- ・ 「朝ごはん自慢」も一番魅力的な朝食の人ではなく、その人を紹介して語るのが面白かったです
- ・ おやじの会を通じて水上さんが楽しく遊んでいる姿とパワフルで皆に勇気を与えている姿を見られました
- ・ これからは「琴F」ではなく、「琴中フェスティバル」とちゃんと呼びます!

メッセンジャー:相馬 満

表題:「またまた? 科学技術入門編(意外に身近な科学技術)」

趣旨:

- 1) 科学技術は難しいとか、苦手とかで敬遠されがちですが、実はとても身近なところに沢山あって、毎日それを使って生活していることを分かってほしい。
- 2) 多角的な見方をすると、1つの答えだけでなく色々な事が連鎖して見えてくる面白さを知ってほしい。
- 3) 「なぜ?」と思うことの大切さを伝えたい。



終えての感想:一日講師は3回目でしたが、生徒さんの真剣な眼差しに今回も緊張しました。朝起きてから学校に来るまで多くの科学技術と接していることを説明しました。例えば1匹の焼き魚について、海で捕獲してから食卓に並ぶまで様々な科学技術に携わっていることや、ドアを開けることも科学があることを話しました。また、「浮世絵」(北斎・広重)の作品を取り上げ、美術ではなく江戸時代の「情報」として科学技術の視点から読み取り、その根拠についても紹介しながら現在のエネルギー事情と比較しました。私は仕事で、昨年の胆振東部地震において災害復旧に携わりましたが、これだけ進歩した科学技術であっても万能ではなく、自然の力には勝てないことを恐竜の滅亡と関連付けて多くの仮説と事実を紹介しながら「なぜ」をどんどん深めて行きました。

今回は近年の未確認飛行物体の話など最新の情報を交えながら紹介したため驚きと興味を持って聞いてくれたようでした。

一連の授業は「身近な科学技術～浮世絵～恐竜の謎～地球環境～人類の将来(我々はどこから来て、どこへ行くのか)」を通して、便利な科学技術も間違っ使用することの危険性や、人類誕生の神秘を確立から解き明かすことで「命」の大切さを一番伝えなかったことです。(モスラは飛べるのかを計算で解きましたが、ウケませんでした……)言葉足らずの説明でしたが、生徒さんからの感想を読むと、趣旨は理解してもらえたようなので安心しました。

■ 生徒限定の感想:

- ・ 地球にはまだまだ沢山の謎があることを実感しました。自分でも調べてみようと思います。
- ・ 面白いトークのおかげで、50分間が「アッ」という間に過ぎました。
- ・ 理系の授業はすごく苦手ですが、今日の相馬さんの授業を聞いて科学について興味を持ちました。特にすごいなあと感じたのは「浮世絵」についてです。昔の人が描いたただの風景画だと思ってみませんでした。科学的に見てみると確かに木材だけが当時のエネルギーになっていることが分かりました。
- ・ おまけの話で、昨年の地震から「科学技術は防災から減災へ」は印象に残りました。
- ・ いつか私たちの授業を担当して下さい。
- ・ 今のままだと人類が絶滅に向かっていることを知り、今の環境破壊はすごく深刻だと思いました。
- ・ 沢山の情報から仮説を導きそれを繋ぎ合わせ、そこに1つの事実を見つけ出すところがとても面白く興味がわきました。また、今まで色々な科学者が発見したことを基に私たちが生活し、これからも将来、科学技術の大発見で私たちの生活が大きく変わるのではないかと考え、とてもワクワクしました。
- ・ 一番面白かったのは、相馬さんのティラノサウルスの歩き方のモノマネです!
- ・ 今日の授業で恐竜の滅亡を宇宙にまで規模を広げて分かったことがとても驚きました。
- ・ トイレの水にも様々な科学があるなんて! 明日から色々今日の話を思い出して生活します。
- ・ 高校では文系と決めつけていましたが、理系もいいなと思いました。

メッセージャー：山田 一也

表題：「『働く』って、な～に？」

～お金のためだけに働くのか～

趣旨：働くことの目的を考えてもらいたい。

将来を真剣に考えることで、今を充実させてもらいたい。

そのため、まずは中学生を対象とした職業説明会の様子を写真で見せ

ながら、世の中には多くの仕事があることと、仕事について真剣に考えている同世代の存在を認識してもらい、自分になりたい職業について考えるきっかけとした。そして、その職業に就くためには、どんな資格が必要なのか、どんな学校を卒業する必要があるのかなどを考えることを通して今の生活を振り返ると同時に、就職すること自体が人生の目的ではないはずなので、その仕事をする中で何を為したいのかを考えてもらいたい。



終えての感想：相当話題を絞り込んだつもりであったが、やはり時間が足りなかった。

■ 生徒限定の感想：

- ・ 具体的な例や私たちの日常のこととつなげて話してくださったので、分かりやすかったです。
- ・ 僕の知らない職業や、名前は聞いたことがあるけど詳しくは知らない職業など、世の中には本当にたくさんの種類の職業があるんだなと感じました。そして、になりたい職業になるためには、どうすればよいのかというはなしも分かりやすくていねいに教えてくださったので、とても分かりやすかったです。今回の授業で学んだことをこれからしっかりと生かしていけるように頑張りたいと思います。
- ・ 世の中には様々な種類の仕事があるのだと改めて理解できました。また、今はまだ中学生の段階だけれども「将来はどのような仕事がしたいのか」「そのためにはどうすべきなのか」を考える必要があり、それと同時に自分の進路もじょじょに決めていかなければならないのだとわかりました。
- ・ 私は今はまだ中学生だからと特に何も考えていなかったけれど、中学生、高校生のころから考えないとできない仕事があることがわかったし、「～になりたい」と考えてある程度決めておくことで、将来どここの学校に入るかなども考えることになり、今一生けん命勉強するためのやる気にもなるなと思うので、今回のこの授業を受けて、私も将来何になるか考えてみようと思いました。
- ・ 何となく生きていても、人は全員年をとっていくから、みんな大人にはなれるけれど、自分なりに今の目標を持っていれば、もっともっとすてきな自分に近づいていけるのではないかと思います。
- ・ 私も、これからは積極的に、自分の将来について考え、それを実現させるために、どのようなことをすれば良いか、などを考えながら、残りの中学校生活を実りあるものにしたいです。
- ・ 「今から未来の可能性を広げることが大事」とおっしゃったのがとても印象に残っています。
- ・ 目的を考えて、目標を考えて、その後に手段を考える。何をするにも大切なことだと思いました。
- ・ 今日は、仕事について、たくさん学ぶことができました。お金のために働く以外の目的は、結局出て来ませんでした。自分の好きなこと、やりたいことを見つけ、追求していこうと思います。
- ・ 自分の仕事は、収入、楽しさだけでなく、だれかのための、必要とされるような仕事だと胸を張っていえるようになりたいなと、意識が変わりました。

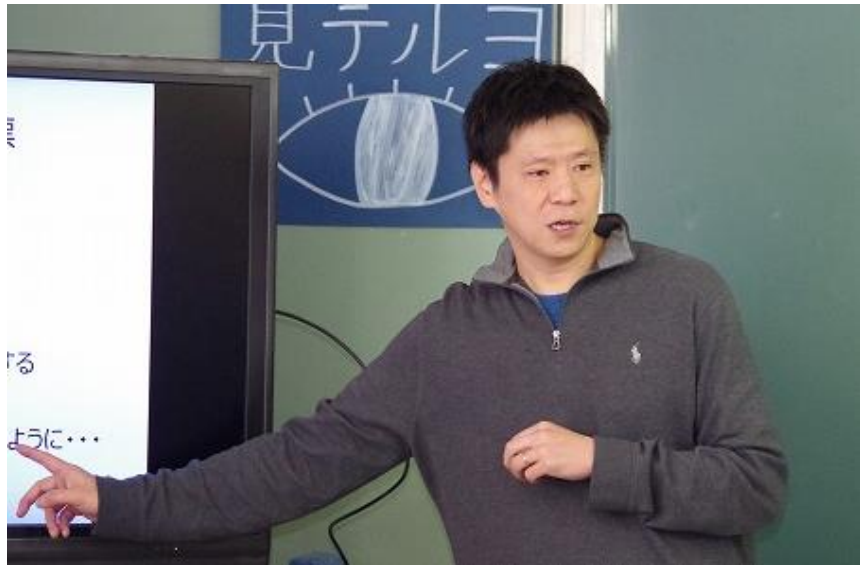
2年5組

メッセージ：瀬川 亮太

【表題】「私が人生で学んだこと～おやじのひとりごと～」

【趣旨】

自分が中学生のときに勉強や部活などの機会において親や先生から教えてもらったり、指導されたことや自分なりに悩んだり、考えたりしたことが、今振り返ってみると実は社会人になっても生きている、生かせるということを伝えることで、みなさんの今後の学校生活を大事に、そして生き生きと過ごしてもらえればうれしいです。



【終えての感想】

- ・ この度は、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。ちょうど中学生ぐらいだったと記憶していますが、学校の先生になってみたいと思っていましたので、夢を1つ叶えることができました。
- ・ 2年5組のみなさんが最後まで真剣にお話を聞いてくれましたし、担任の先生にもご協力いただいたこともあって、スムーズに進めることができました。みなさんに感謝です！とても楽しい時間でした！
- ・ 来年も人が足りないようでしたらお声がけください。クラスが変わらないのなら、同じクラスのメンバーの成長ぶりをみてみたいです。

■ 生徒限定の感想：

- ・ 目標を具体的に立てることの大切さを学び、自分の甘さについても深く考える機会になりました。
- ・ これからは「ちゃんと」「しっかり」ではなく、反省しやすく、具体的でわかりやすい目標にしていきたい。
- ・ できるだけ物事を具体化することで目標達成に近づくことに納得した。また具体的に目標を決めることで振り返りや反省がしやすいことがよくわかった。
- ・ 限られた時間でどのように結果を出していくかを具体的に！そしてデジタル化して計画を立てていこうと思います。
- ・ 自分のことを理解して、行動して、限られた時間でも勉強と部活を両立できるように毎日コツコツ頑張っていこうと思います。
- ・ 苦手な教科をどのように得意にしていくのか、家や学校の時間の使い方を考え直し、部活と勉強の両立ができるようになりたいと改めて思いました。
- ・ 今日学んだことは、今だけのことでなく、未来の受験や就職した後も大事になってくることだと思うので今のうちから意識し、習慣づけていきたいと思います。
- ・ 今回は自分の見直すよい機会となりました。
- ・ 今回の授業は、僕にとって一番ためになる授業になりました。僕も頑張りますので、瀬川さんも頑張ってください。

2年6組

メッセージ: 飯田 聡

表題:ブレインアップデートの手法
で自分軸を整えよう

趣旨・感想:

静寂の教室中重〜い感じ。この子達は萎縮している。心が通い合っていない。「さて、どうしたものか!?!」と思い氣や「私にとって絶好の場」私は俄然やる

氣になった。この50分間の一期一会に私の全エネルギーを出し切り一瞬で次元上昇させる事にした。このクラスに決まった時から引き寄せは始まっていた。

大人の場合学びたい事がハッキリしていて目的目標が明確なので受講料を払ってセミナーに参加する。この授業は生徒さんが無知の状態から、伝授するので言語のみでは、全く伝わらず理解されない、そこで実践的に行った。

脳=心=体を統合させる事で認知→判断→行動が正常化され、脳心体のひとつでも崩れるとブレブレになる。この状態が本来の自分じゃない自分である。この状態が続くとストレスが発生して様々な症状として現れる。例えば、不安・恐怖・憎しみ・心を閉す・ジャッジ・コントロール等いわゆるネガティブ思考である。

これをポジティブ思考に変換する事でブレブレ、ストレスを解消する事が出来本来の自分になれる。今抱えている様々な問題[問題→課題に言語変換] [浮上]→[調整]→[解放]

浮上=現在抱えている課題等、調整=ブレインアップデート手法、解放=氣付き・腑に落ちる・納得・愛と感謝等

今回の手法は

① オンサを聴く:ネガティブ思考⇒ポジティブ思考へ変換

② ②禮法と空中腕相撲:禮で脳体の繋りを理解し集中力を高める

③体の三軸を整える:体全体にしっかり軸ができて本来の自分になり他人の思考・言動・態度・行動に惑わされない

以上を生徒さん全員が体験と体感する事でありのままの自分になりお互いを認め合う事が出来る。

自力=自分、他力=同級生、場力=学級 これらの力のエネルギーが統合され一気に次元上昇された。

最後に今後の目標設定 (一人の生徒さん)「明るく楽しいクラスにしたい」との事。簡単に出来ます!!「貴方が明るく楽しくなればいい」一人の思いが次々に伝わり引き寄せがはじまりどんどん巡りが良くなる。

授業が終えた頃全員活き活き輝いた。私の思いが生徒さん全員に伝わりました。とっても感動しています。

「皆さん、ありがとう。Rock'n'Roll !!」

生徒限定の感想:

- ・ オンサを聞いて不思議な感じがした
- ・ 礼の意味がわかった
- ・ ありのままの自分になる
- ・ こんな授業生まれて初めて 等多数



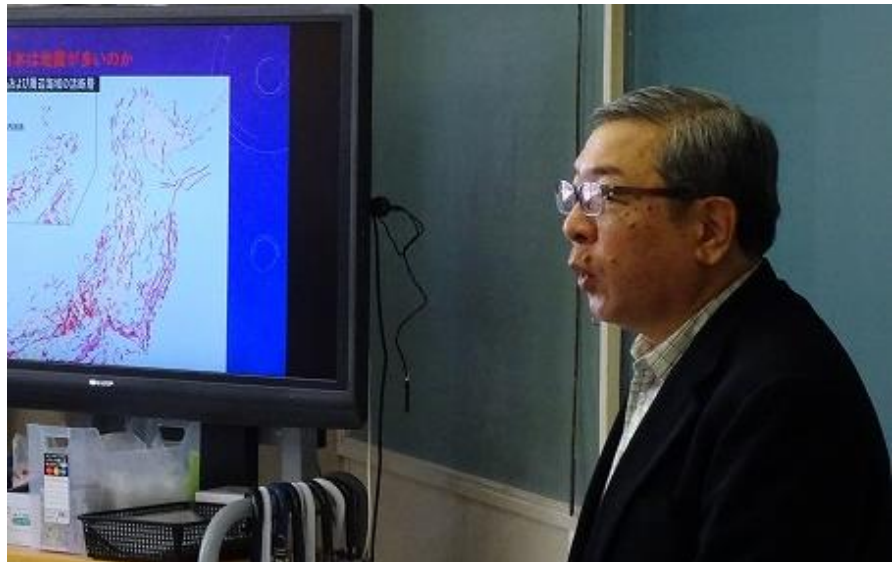
3年1組

メッセージャー: 牛田 健一

表題: 災害対応ゲーム「クロスロード」

趣旨: 災害対応を自らの問題として考え、さまざまな意見を参加者同士が共有する事を目的としています。

終えての感想: 過去十数回行った地震の話と替えて初めて行ってみました。



ました。今までは一方的に話をする事が殆どでしたが、このゲームでは皆さんに問題を考えて貰い、他のメンバーの考えを想像して回答を行ない、その後参加者の話を聞くことで異なる意見や価値観の存在に気づくことが出来ます。5人でグループを構成するには3人足りませんでしたので、先生と参観のお父さんに参加して貰い積極的な意見交換の場を作って頂いたことに感謝しています。

■ 生徒限定の感想:

- ・ 楽しい時間をありがとうございました。今日学んだ事は色々な場合に備えたいと思います。
- ・ 今日は僕たちのためにありがとうございました。ゲームをして人の意見も聞き学ぶ事ができました。
- ・ 今回の授業で防災のことがわかり見直すことが出来ました。
- ・ ゲームで災害対策を考える機会になったと思います。意見を聞き話し合う事で考え直す事ができました。
- ・ 今まで考えたこともなかったことをゲーム形式で楽しく考える事ができました。
- ・ ゲームとても楽しかったです、意見を聞きながら自分の考えとは別の意見もわかり参考にしてみます。
- ・ ゲームではすごく悩んだり考えたりする質問ばかりでとても大切なことを学びました。
- ・ 家では防災の意識がなくなってきていて、今回の事で防災に対する認識を変える事ができました。
- ・ いつ被災するかわからないので、災害についての知識をふやし常に用心して生活していこうと思います。
- ・ 災害保険の件で他の人の意見を聞いて、色々な価値観や見方、感じ方がある事を学びました。
- ・ クイズ形式で楽しく取り組むことができました。琴中のおやじの会として頑張ってください。
- ・ Yes、No のクイズでは楽しみながら知識を学び、他の授業にはない進め方が新鮮でした。
- ・ 家ではあまり防災について話し合う事が無いので家に帰ったら話してみようと思いました。
- ・ ゲームでは人によって判断や理由が違って、自分じゃ考えられないような事も出てきて面白かったです。
- ・ 地震や台風の被害があったので、災害対策をしようと思っていたのでとてもためになる授業でした。
- ・ いつ地震が発生しても問題ない備えをしておこうと思いました。防災に関しての意見が違っていると判りました。
- ・ ゲームを通して学んだ事や自分の意見を忘れずに、今後に必ず生かします。
- ・ グループで意見交流するのは新しい発見が得られたし、ゲームも分かりやすく考えさせられました。
- ・ 普段の生活では深く考える事が無いようなことを考える事が出来ました。
- ・ 多数意見の方が常識的なものかもしれませんが、少数意見も尊重して理解する事が大切だと学びました。
- ・ 今日はクイズという形式で被災した時や防災をするときの行動を楽しく印象に残る授業で楽しかったです。

メッセージ：木下 浩司

表題：もっと知りたい『エネルギー』のこと

趣旨：エネルギー問題は最重要課題であるにもかかわらず、授業で教わっていても、身に付いていないのではないか、との思いから、エネルギー問題を簡単に、分かりやすく説くことにチャレンジしました。



エネルギーの基本知識を少し深掘りするとともに、エネルギー問題の本質である「枯渇性エネルギーをどこまで使い続けるのか」との命題に皆さんが関心を持って頂くことを目標としました。

終えての感想：手応え？良く分かりません。一つだけ言えることは、今回も私はやり切ったということ。感想を見る限り、やはり少し難しかった、との感想が多いですが、関心が深まったとの感想も多く、50点といったところでしょうか。このネタを磨きこんで、唯一無二のコンテンツに仕上げたいです。

生徒限定の感想：

- ・この授業を通してエネルギーの大切さや、どれだけのエネルギーを人間は消費しているのかなどを知れて、易しく面白く授業を受けられました。あまり声を出したり、自分の考えを発表したりする場面はなかったですが、自分で深くまで考え、自分の意見をしっかり持って授業を受けることができました。
- ・内容は私たち中学生にとっては少し専門的すぎて難しい部分もありましたが、理科などの学校の通常の授業よりも詳しい内容で、身の回りで起きているエネルギーの変換などの仕組みをさらに深く知ることができ、とても面白い授業だったと私は思いました。
- ・正直に言うと今回の授業は非常に難しかったです。ですが、今私たちが使っているエネルギーはどこから来ているのか、また人間や植物はどう生きているかというお話に興味を持ち、面白いなと感じました。
- ・太陽光エネルギーなどの再生可能エネルギーの利用において、様々な障壁があることを知りました。このまま人類が枯渇性エネルギーの浪費をやめないと、エネルギーを巡った戦争・紛争につながると考え、早急に解決せねばならないと思いました。
- ・非常にわかりやすい説明でしたが、やはりエネルギーについての話は僕たち中3には少し難しかったと思いました。正直内容が難しかったのか、教えて頂いたことはあまり頭に入っていないんですが、一つ分かったことはエネルギーは地球を支えていくうえで本当に大切なものだということです。
- ・学校の理科の授業の中で私はエネルギーに対する数多くの疑問を持つようになりました。まさに、エネルギーはどこから来ていて、本質的な燃料自体、どのルーツから来ているんだろうというものでした。その疑問に対し、数値的な面やそれ以外で私に明確な答えを与えてくださいました。そのことで私の中のもやもやとしたものが一瞬にしてスカッと晴れてスッキリとした気持ちになりました。
- ・まだ習ったばかりで、復習も全くできていないところだったので、私にはすごく難しく感じました。ですが、私たちがきちんとこのことを知らないまま大人になってしまうと、将来とてつもなく困ってしまうことになっていたかもしれないので、少しでも、内容を理解し、どれだけエネルギーについての問題が重要なことかを知ることができました。

3年3組

メッセンジャー: 平田 直之

表題: 「知ってほしい救急医療のこと」

趣旨:

麻酔とは何か。麻酔科医の仕事内容
目の前で誰かが倒れたときの原因と
対処方法

終えての感想:

普段は札幌医大の学生に講義をしています、医学生よりも熱心に講義を聞いてくれました(笑)。

中学2年時に心肺蘇生講習会を受講したとのことで、予備知識があったので講義しやすかったです。
また、来年も参加できればと思っています。



■ 生徒限定の感想:

- ・ 麻酔科医の仕事や実態を知ることができ、とても興味深かったです。
- ・ 麻酔で患者さんに良い夢を見させてあげる仕事をどうか続けていってください。
- ・ 麻酔をすると5秒で寝れたり麻酔中は息が止まっているなどいろいろなことを初めて知ることができました。
- ・ 麻酔はすごく怖いイメージがあったんですけどすぐに眠れて痛みもなくて今回の授業でイメージが変わりました。
- ・ 春休みに麻酔をして手術をすることになっているので麻酔の安全性を知ることができてとても良かったです。
- ・ 私は一度も麻酔をかけられたことはないのですが、今回の話を聞いて、あまり良くないですが麻酔をかけられてみたいと思いました。
- ・ 今の時代の医療が発達しているのがよくわかりました。
- ・ 心臓マッサージの仕方は習って知っていたのですが、倒れてしまう理由などはよく知りませんでした。
- ・ 心臓のけいれんが誰でもどこでも起きる可能性があることがとても印象に残りました。
- ・ 中高生でも突然倒れたりすることがあるのを知りとても驚きました。
- ・ 家族や友人が倒れてしまった時は教えてくれた通りに AED をすぐに持ってきたり周囲の人たちに呼びかけて助けを求めたりして必ず生かしていきます。
- ・ 日常で周りにいる人が倒れることがあるかもしれないので自分もそういったときの判断や行動に気をつけるようにしていきたいと思います。
- ・ 救急処置の難しさや一歩踏み出す勇気と真剣に向き合って 15 歳の自分に何ができるかを一生懸命考えていきたいと思います。
- ・ 心肺蘇生だけでは心臓のけいれんはおさまらず AED の大切さ、両方行うことが重要だと知りました。
- ・ 「1秒でも早く対応できていたら命は助かっていた。」などの言葉を様々な場面できき悲しい気持ちになるのでもし自分が誰かを助けなければならない状況に置かれたら迷わず行動していきたいなと思いました。
- ・ 医療関係の職に就かなければ知ることができないような貴重なお話を有難うございました。
- ・ 将来医学の道に進みたいと思っている私にとってとてもためになる授業をしていただき有難うございました。

メッセンジャー: 菊川 義信

表題: 「大豆の大事な話」

趣旨: 身近な大豆が世界を救う! ?

出来ることから進める地球号の未来。

考える時間を持つ。

終えての感想: 言葉や口先だけの環境問

題。SDGs・気象異常・食品ロス・働き方

改革・最貧国日本!

中学生だから自分事としてもう一度しっかり考え・行動し目を背けずに向き合う機会を持ってほしいと考えてテーマを選びました。少し難しいが身近な事実を伝えられてホットしています。



■ 生徒限定の感想:

- 今日の授業はとてもタメになるものでした。牛肉は大豆と比べ育てるまでに水を 50 倍必要で牛を育てる飼料を人間の食べ物に充てると飢餓人口の 8 億 2000 万人を賄えることに驚きました
これからは朝食をしっかりとり健康のこと食品のこと興味を持ったので調べてみようと思います。男子
- 私は社会人のお話を聞くのが好きで私も将来このように沢山の専門知識を身に付けるために会社に勤めたいとおもっているの社会人に対する憧れが強くなりました。聞いたことのない単語が出てきましたがモニターや菊川さんの丁寧な説明のおかげで正しい大豆の知識を身に付けることが出来ました。最後の質問は答えることができませんでしたが復習してくださったお陰で覚えることが出来ました。大豆がどのような食品かわかる表をみて大豆は私たちにとってなくてはならないものでとても近くにあるものだと感じました。女子
- 最初は大豆のなにで世界を救えるのだろうか?と疑問でした。世界には 8 億人以上の飢餓人口がいてアメリカでの家畜に与える大豆を食料に回すとほとんどの人が助かると学びすごく考え深いことだと思いました。また北海道は大豆の作付面積収穫量ともに1位なのに摂取量は近畿に次いでいたから2位は少し寂しいと思いました。日頃から食べ物について考えようと改めて思いました。大豆の大事さについていろいろなことが学べて良かったです。今日は素敵な授業を有難うございました
- 大豆という私たちの生活にとっても身近なものが世界を救うかもしれないという大きなテーマで今までは考えることすらなかった大豆の可能性を学ぶことができました。普段の食生活のころをはじめ世界の様々な問題を例として私たちはこれからどうしなければならないのか今の私たちにどんなことが出来るのかということを身近な小さなことから世界規模の大きなことまで考えることが出来とても興味深いお話でした。北海道はとても多くの食べ物が作られていて北海道の食料自給率は 200%を超えるのに日本全体では 30%ほどしかなく沢山の食品を外国から輸入し、沢山の食品を破棄してます。これほどもったいないことはないと思います。大豆に限らず食べ物を大切にしようと思います。女子

メッセージ: 田中 則和

表題: 「土木って知ってますか？」

趣旨: 「土木」の仕事と言うと、イメージが沸かない人がほとんどだと思うので、私の専門である「ダムやトンネル、道路、橋、上下水道を作る土木の仕事」は、皆さんの生活を支える身近な仕事であることを伝えるとともに、「仕事」や「幸せ」、そして、今一番悩んでいると思う「受験」について「おやじのメッセージ」を送りました。



終えての感想: 今回で一日講師は5回目ですが、ずーっと温めていたテーマでした。これまでは、私の子供から「土木の話をして誰も興味を持たないよ・・・」との冷たい言葉に別テーマを選んでいたのですが、昨今の地震や台風の多さに思い切ってチャレンジしました。授業中は娘の言うとおり、専門の話をするほど生徒の意識や興味が遠のくのが手に取るように分かり・・・話の間に仕事や人生観、受験の話をしてなんとか間を持たせたのですが、反応が薄く撃沈したと思いました。

しかし、生徒の感想文を読むと(忖度してくれたのか)反応はこれまでで一番良く、「土木の大切さが分かりました」という感想が多く、「仕事」等についても伝えたい事がきちんと伝わっており、講師をして良かったと思いました。

コーディネイトを頂いた武田さん、塚本会長、校長先生、先生方の皆さま、本当にありがとうございました。

■ 生徒の感想:

- ・ 私たちの普段あたりまえのようにすごしている生活の中にも土木の技術によって支えられていることがたくさんあることがわかりました。
- ・ 台風19号で新しくできたダムによって東京の被害が少なかったとテレビ・ニュースで見ました。人の生活の安全、健康を守り、生活をよりよいものしてくれる土木はすごいと思いました。
- ・ 土木という仕事は、道路を作るということは、聞いたことがあったのですが、ダムをつくったり、色々な私たちの生活に必要なたくさんのインフラを作っているということを聞いて、とても大事な仕事だということがわかりました。そして最後に「地図に残る仕事をしてみませんか」というのがとても心に残りました。
- ・ 日本では、私達のように土木のことをあまり知らない人やそもそも名前すら聞いたことのない人が多いので、アメリカや外国のように、もっと土木が国民に知れわたるようにすべきだと思いました。本当におもしろいお話でした。
- ・ 僕が一番心に残っているのは、普段の勉強が「自然」と関係していたことです。「斜面上の物体の運動」と「斜面崩壊」が関わっていたことなどがとても印象に残りました。
- ・ 今、私たち3年生は将来について考えなければならない時期なので、「こんな仕事もあって、こんなことをするものなんだな」ということがとてもよくわかりました。筆舌につくせないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・ 土木の話以外に将来についての話、受験についての話もしていただき、とても心に響きました。私は今、行きたい高校の合格ラインぎりぎりです。でも、田中さんに最後まで諦めないことに大切さを伝えてもらい頑張ろうという気持ちになりました。
- ・ 落ちて人生が終わるわけじゃない。運が悪かったと思って新しい学校で友達を沢山作りなさい。という言葉にも、今、受験に不安な自分もいづらか楽になれた気がします。

メッセージ: 武田 勝

表題:「中学生の時の夢はどうなった? ~夢とキャリアの話~」

趣旨: 私の同級生 4 人の中学時代の夢とその後のキャリアを紹介しながら、夢を実現した人も、そうはならなかった人も、また、そもそも中学時代に夢がなかった人も、好奇心や柔軟性、冒険心、楽観性を持ち、目の前のことに没頭していけば充実した人生が送れるよ! ということを伝えてます。

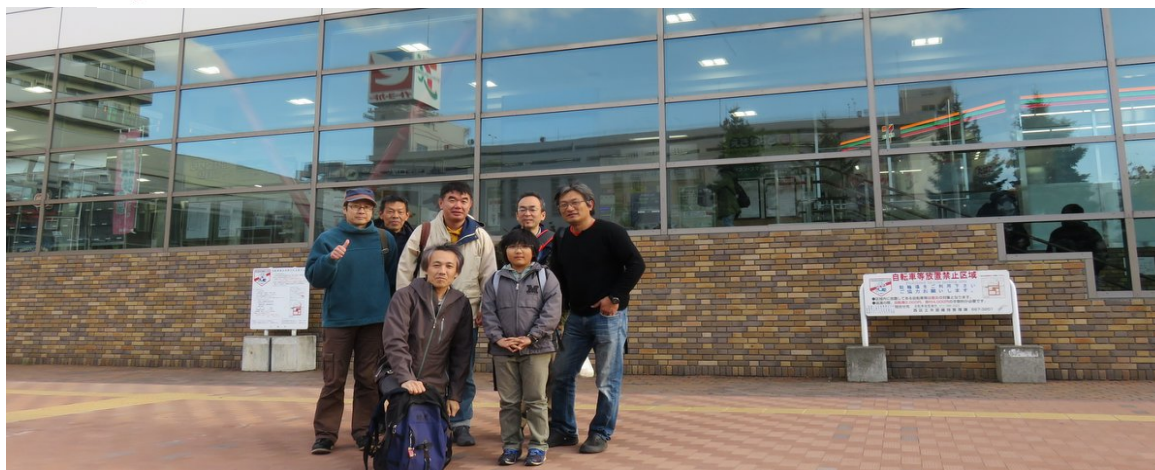


終えての感想: この話、進路選択前・受験前の 3 年生を対象に今年で 4 回目になります。毎度中身をちょっとなんて変えているので、いつも何かしら抜けてしまうのですが……一発勝負のライブの難しいところですね。そういえば最初に聞いてくれた世代は今高校 3 年生。またまた人生の選択の時を迎えてますが、どうしているかなあ。

■ 生徒の感想:

- ・ 未来のことを考え過ぎずに、目の前にあることに没頭することも大切なんだなと思いました。「きっと何かが将来に役立つ」という言葉を聞いて、私の未来は明るく大きくなったような感じがしました。
- ・ 「どこの高校へ行くかではなく、そこで何をするか」という言葉を頂き、環境を問わず、どこへ行っても自分の最大限の力を発揮し、頑張ろうと思うことができました。
- ・ 4 人の方のお話を聞いて、「物事を前向きにとらえること」「0.1%でも可能性があれば挑戦すること」が大切なんだなと思いました。また、「自分で決める」「目の前のことに没頭すれば行動の世界が広がる」という言葉が心に残っています。中3のこの時期は進路について色々と考えなければならなくて忙しいけど武田さんの授業を聞いて、将来についていろんな視点で前向きに考えていこうと思いました。
- ・ 私自身、将来の夢も漠然としていて、高校やその先のことを考えると不安になっていたのですが、今日のお話で夢ややりたいこと決まっていなくても大丈夫なんだと思い安心できました。今日の授業で自分がどんな偶然に出会い、将来どんなことをしているのかが不安ではなくて楽しみになりました。
- ・ 選択することは何かを捨てて何かを得ること、物事を前向きにとらえること、柔軟に物事を考えること、小さくてもいいからチャレンジすること、これらのことは私ができていないものがほとんどなので、少しずつできるように努力していきたいです。
- ・ 最後に話してくださった「高校は行く場所より行ってから何をすることが大切だよ」という言葉がすごくためになり、その志望校でやりたいことを自分なりに見つけて、それが将来にどう役立つかはわからないけど今できることを一生懸命取り組みたいと思います。
- ・ 「自分の考え方と行動次第」という言葉を聞いて、これから自分が何をすればいいのか、したいのかわからなくなった時、この言葉を思い出して一つ一つたくさんのことに挑戦できそうです。
- ・ 4つの体験談の中には、そのまま自分の意志を貫き通したり、時にはきっぱりあきらめたりするなどの、やめない、やめるの選択が多くあり、どちらの選択を取ったとしても最終的には自分で決めて、決めたからには決めたなりの努力や挑戦を続けていくことが大切だということも学ぶことができ、自分の考えが大幅に広がったと感じました。

会報 平成おやじの会



おやじ鉄道部

やまちゃんプレゼンツ 今度は逆回り！ 太平洋側から日本海側に回って名物を食べる旅

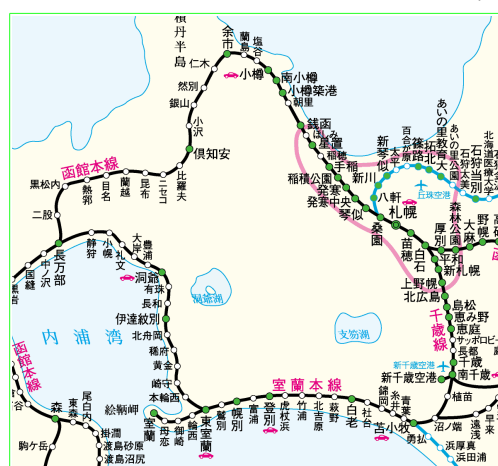
07:45 琴似発岩見沢行 おやじの旅の始まり～



岩見沢で乗換えて苫小牧でホッキ三昧



20:40 琴似着



かに飯のかなや まさかの 16 時閉店
買えた人買えなかった人…

とある事件 (切符がない人二人) を乗越え? 秘境駅



会報 平成おやじの会

男子バレー部と交流戦！



現役選手の頼もしい姿に
未来の輝きを見た！



《 白 熱 の 攻 防 戦 》



■参加者コメント：男子バレーボール部長 宮越さん

先日は、おやじの会の男子バレーボール部との交流戦を開いてくださり、ありがとうございました。おやじの会の皆様、保護者の皆様、OBの方との交流ができてとても楽しかったです。

改めて琴似中学校のバレーボール部の歴史や繋がりを知る事ができました。僕が特に印象に残っていることは、おやじの会の方やOBの方の絶対にボールを落とさないという粘り強さやパワフルなプレーです。技術面や精神面でもOBの皆様にはまだまだ敵わないと思い、とても刺激になりました。

琴似中学校のバレーボール部は伝統ある部活です。僕たちもその歴史を汚すことのないように、顧問の本保先生の指導の下、日々努力を重ねていきます。僕たちはまだ全く実力はありませんが、やる気と根性はどのチームにも負けない自信があるので、今後とも応援よろしくお願いいたします。

■おやじコメント：脇さん

試合と重なった女子バレー部の配車役を妻に任せ、男子部員との交流戦に参加。いつもドキドキの集合ですが、今年は卒業 20 周年のOBが駆けつけてくれホッとしました。

で、自分はウォーミングアップから腕の鍛え不足を正に痛感。。そして、これまで全国レベルの試合を観てきてイメージはあるのに体は動かない。。でも、自分も皆さんも怪我無く楽しめたのが良かったです。次は女子とリベンジだ！？

●編集後記：さすが 全国大会出場経験の歴史ある 男子バレーボール部。 お母さん達の応援・観戦・参戦もあり、非常に盛り上がった交流会でした。 現 3 年生が非常に強く、優勝でした。高校に進学しても活躍を期待します。

1、2 年生のチームは、戦力的にはまだまだですが、新キャプテンの一言が 「この冬、猛練習をして目標は全道制覇です。」と頼もしい挨拶で締めくくりました。がんばれ！！男子琴中バレーボール部！！（塚本）

〈撮影：牛田〉

会報 平成おやじの会

卓球部交流戦



刻むリズム♪ 白熱ラリー

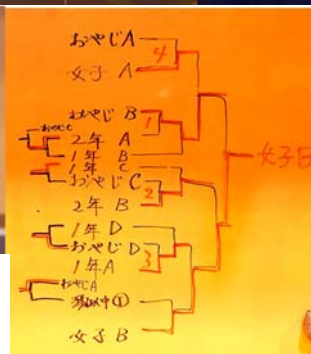


★ 卓球部 佐々木 日菜子さん

先日は、おやじの会と卓球部の交流戦にお越しいただきありがとうございました。おやじの方々のおかげで、部員も楽しい時間を過ごすことができました。また、試合で活かせる技術を教えていただき、勉強になったという声もありました。私たちは、今よりもっと成長できと思っています。今後も皆様に、よりよい結果をお見せできるよう、より一層練習に励んでまいりますので、ご声援よろしくお願いします。

♠ おやじ 溝端さん

11月30日(土)琴中卓球部との交流がありました。実は、娘が卓球部に所属しています。娘が大好きな私は、絶対に参加したいと願っていたところ、仕事がちょうど休みに\(^-^)/
残念ながら、娘と対戦することなく終わってしまいましたが、娘のチームが優勝し、心の中では大拍手を送っていました。たくさんの卓球部員と、対戦させてもらい、汗をかくほど熱気に満ちた一時でした。次回は、卓球部だけではなく、他の部活との交流に参加したいと思います。



♥ 編集後記と撮影 1, 2 年生に加えて, 3 年生も助っ人で参加してくれました。また今年はお母さんがたにもご参加いただきました。今年は優勝が女子 B チームで, 準優勝はおやじ B チームでした! <熊澤>

会報 平成おやじの会

20 周年記念祝賀会 & 大忘年会!!



我ら平成おやじの会は「永久に不滅です！」



受付おつかれさまです。



司会の相沢さん、最高でした！



塚本会長あいさつ



勝田校長先生あいさつ



高原教頭先生 乾杯のご発声



さあ、カンパーイ！

♪ 和



あい



気



あい ♪



牛田さん作成の過去から現在の思い出スライド、本当に素敵で皆飲むのも忘れるほどでした！



実行委員会作成の記念誌、
見ごたえ十分で新たな発見も。

大ビンゴ大会～！「えーと、どれにしようかな!？」



利きビール大会。さすが皆違いの分かる男たち？

利きビール界の鉄人！

みんなで長渕剛の「乾杯」合唱！見よ、この一体感！まさに ONETEAM！



ロックの神様？降臨！
奇跡のデュオ!?



札幌・琴似中学校 No. 286 令和元年 12 月 7 日(土)、山の手会館

出席者を一挙ご紹介。



(おまけ)
アフター５ならぬ、アフター９。
実行委員の皆様、本当におつかれさまでした。



【おやじ達のコメント集】

◎20 周年記念式典&大忘年会 実行委員の皆様

■牛田さん

皆さまに好評でしたスライドショー、製作はプログラム任せであり手間はかかりませんでしたが、膨大な写真からのチョイスが大変でした、沢山の顔を並べたかったのですが、出番が少なかった方「ご免なさい！」

■相沢さん

袋棚に眠っていた色紙や画用紙にペイントマーカー、結婚式以来のプロフィール、最近出番の無かったビンゴマシン、みんな 20 周年祝賀会で生き活きと甦る。昔懐かしいお楽しみ会の準備よろしく、アイデアが次から次へと溢れ出てくる。一番楽しんだのは？この私。ご参加の皆さん、お付き合い有難うございました。

■田中さん

20 周年おめでとうございます。私もおやじの会の樺を繋ぐことができ、光栄です。100 年続くように祈念しております。

◎第 20 代会長 塚本さん

大盛況に終わりました 20 周年記念祝賀会兼大忘年会。本当に担当して下さいました 20 周年記念実行委員会の皆様ありがとうございました。また歴代の校長、教頭先生を含めご出席していただいた全ての方に感謝を申し上げます。

●編集後記：平成おやじの会、設立メンバーから現役会員まで、またご尽力いただいた先生方が一堂に会して大盛り上がりでした。設立時の熱い思いを引き継ぎ、時代が移り変わっても、情熱の炎を絶やさずに 30 年・40 年と燃やし続けていきたい。皆思いは一つ、本当に素晴らしい会ですね。（高橋）

〈撮影：牛田、木下ピ、熊澤、伊藤、高橋〉

会報 平成おやじの会

バスケットボール交流戦



おやじ参加少なし。。。

■生徒コメント：男子バスケットボール部長 岩橋さん
先日は、自分たちのために土曜日という貴重な時間を割いてこのような楽しい時間を作ってくださいありがとうございました。

自分たちも、部活ができるは学校や先生だけではなく地域の皆さんの協力もあると思うので、日々周りの人への感謝の気持ちを忘れずに、部活に取り組んでいこうと思います。

土曜日は、本当にありがとうございました。

■参加者コメント：塚本会長

サッカー交流戦と共に、とてもハードで有名なバスケット部の交流戦！！

師走の忙しいところ参加人数も心配されましたが、何とか数名のおやじ達と助っ人の皆様達が集合。それでも、選手層の薄さは一目瞭然。ここでわれらがおやじチームに野球部顧問の高松先生とサッカー部顧問の嶋崎先生が緊急参戦！！終わってみれば、おやじチームの圧勝！！高松先生、嶋崎先生、おやじチームに入ってくれた3年生や助っ人のOB達（キノピーさんの息子も今年も大活躍！！）ありがとうございました！！

1、2年生は来年の中体連頑張ってください！！期待しています。



<撮影:ピ>

会報 平成おやじの会

バドミントン部と交流戦！！



令和最初の年、最後の交流戦の結末は。



レベルが違う！中学生もタジタジ



会長、ガンバです！



鋭い眼光。強豪中学生に勝利！

■生徒コメント バドミントン部部長 坂井 光琉さん

今回は、おやじの会とバドミントンの交流戦をやらせていただき、ありがとうございました。
交流戦は部員全員が参加し、とても楽しむことができました。また、おやじの会の皆様には、常日頃、お世話になっております。今後も、私たちバドミントン部員は大会に向けて結果を出せるように頑張ります。これからも応援よろしくお願いします。今回はこのような機会を設けていただき、本当にありがとうございました。

■参加者コメント 水上さん

例年より少ない積雪の穏やかな日曜日、バドミントン部とおやじの会の一戦。今年はダブルス 15 点 1 マッチの 22 回戦を行いました。強・中・弱のレベルで分けられた在校生に対し、強レベルで大きな勝ち越しをしたのが奏功し合計セット 12-10 でおやじ勝利となりました。立ちはだかるおやじを乗り越えて、全市・全道へ向け頑張る在校生。がんばれ。



爽やかなひとときでした！

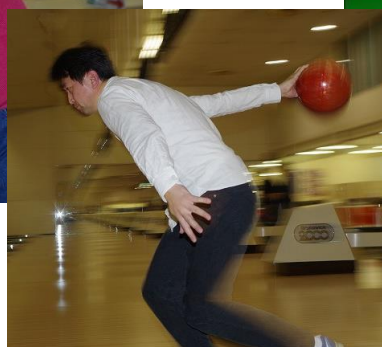
(編集後記) 合計スコアは接戦。初心者でも楽しめました♪
皆いい生徒さんですね(高橋)

会報 平成おやじの会

令和2年だよ 第2回ボーリング大会



川合さん優勝！ハイレベルな闘い



Game 2									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
19	28	37	46	66	86	99	107	116	135
川井 輝昭					Tot 135	Hdcp 0	Ser 292		
9	5	9	8	7	7	18	8	8	1
9	14	23	31	38	46	64	82	90	109
今野 亨					Tot 109	Hdcp 0	Ser 206		
8	13	6	4	9	8	9	9	9	1
9	18	38	57	66	74	94	121	139	147
キノビ					Tot 147	Hdcp 0	Ser 265		
5	4	8	13	5	13	3	9	9	8
9	18	33	39	45	64	73	84	102	122
ガッキー					Tot 122	Hdcp 0	Ser 276		

Game 2									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
20	38	47	67	85	93	100	120	137	144
塚本 直哉					Tot 144	Hdcp 0	Ser 269		
6	8	7	19	6	5	8	6	2	1
6	23	31	51	71	86	104	120	128	158
川合 靖泰					Tot 158	Hdcp 0	Ser 302		
1	6	3	8	17	17	8	6	6	2
16	25	34	42	62	82	102	122	138	146
相沢 正史					Tot 146	Hdcp 0	Ser 298		

山の手連合町内会



年度	西暦	おやじの会会長	副会長	副会長	校長	教頭
平成 11 年度	1999 年	長井 優和	(世話人) 小野 裕明 牛田 健一 篠田 政治 岩本 卓三	・・・	越後 修	深谷 翹
平成 12 年度	2000 年	〃	(世話人) 小野 裕明 牛田 健一 篠田 政治 岩本 卓三	(世話人) 小松 正明 山本 和浩	〃	坪井 一男
平成 13 年度	2001 年	小野 裕明	小松 正明	・・・	〃	高根 誠一
平成 14 年度	2002 年	牛田 健一	河合 靖泰	・・・	〃	〃
平成 15 年度	2003 年	河合 靖泰	篠田 政治	岸田 茂宏	吉岡 正行	〃
平成 16 年度	2004 年	篠田 政治	菊川 義信	万年 寿治	〃	小山 建文
平成 17 年度	2005 年	宮西 勝広	小松 正明	河本 陽介	〃	内海 裕彦
平成 18 年度	2006 年	加藤 俊郎	小松 正明	河本 陽介	〃	〃
平成 19 年度	2007 年	中川 正一	太田 真	遊佐 勇人	〃	〃
平成 20 年度	2008 年	吉本 昌弘	相沢 正史	十良澤 勉	高橋 誠二	〃
平成 21 年度	2009 年	相沢 正史	十良澤 勉	東 陽一郎	〃	齋藤 弘一
平成 22 年度	2010 年	十良澤 勉	田中 総	武井 一郎	〃	廣田 淳
平成 23 年度	2011 年	田中 総	山田 幸徳	日下 信正	鷹橋 淳治	〃
平成 24 年度	2012 年	山田 幸徳	今野 亨	遊佐 勇人	〃	〃
平成 25 年度	2013 年	今野 亨	太田 真	榎本 好宏 飯田 聡	〃	吉井 恵洋
平成 26 年度	2014 年	榎本 好宏	遊佐 勇人	真鍋 和剛 藤原 伸保	黒澤 敏行	〃
平成 27 年度	2015 年	菊入 崇	遊佐 勇人	田中 則和 布施 卓也	〃	若松 忠
平成 28 年度	2016 年	田中 則和	武田 勝	内山 直樹 田中 聡	〃	今川 義昭
平成 29 年度	2017 年	内山 直樹	武田 勝	島田 亮 西野 功人	〃	〃
平成 30 年度	2018 年	武田 勝	島田 亮	塚本 直哉 脇 孝拓	勝田 真塩	高原 健
令和元年度	2019 年	塚本 直哉	水上 元幾	山田 一也 溝端 省起	〃	〃

早分かり年表

(敬称略)

年度	事務局	PTA 会長	主な出来事やイベントヒストリー	発寒河畔清掃& 焼肉交流会	部活動交流& 豚汁収穫祭
平成 11 年度		小南 忠行	平成 11 年 11 月 6 日(土)結成集会		
平成 12 年度	奥井 康広	牧 由	釣り・ゴミ拾い・花壇整備(7 月)/琴 F バザー(10 月)/花壇 球根植え(11 月)/パソコン教室(2-3 月)		
平成 13 年度	"	石川 賢一	入学式での説明会スタート(4 月)/サッカーゴール塗装(5 月)/三角山登山スタート(6 月)/芋掘り(9 月)/収穫祭(10 月)/ミニバレー忘年会(12 月)		野球部
平成 14 年度	"	"	テニスコート排水補修(5 月)/日曜参観 おやじ一回講師スタ ート(6 月)/画用紙制作(8 月)/スノーキャンドル(1 月)		テニス部
平成 15 年度	安藤 隆司	山本 和浩	「我が町琴似」取材・西区 P 連より表彰(5 月)/三会交流会 (10 月)/清田区 P 連研修会・全国おやじサミット参加 (11 月香川)		女子バレー部
平成 16 年度	杉山 佳生 上田 浩嗣 伊藤 信之	"	パークゴルフ大会 (8 月)/花壇で植樹 (9 月)/アイスキャンドル in 琴似(1 月)		サッカー部
平成 17 年度	杉山 佳生 上田 浩嗣 伊藤 信之 工藤 和弘 庄田 直樹	河合 靖泰	「金目小おやじの会」リンク(6 月)/北海道新聞の取材・掲載 (10 月)/アイスキャンドル in 琴似(1 月)		バドミントン部
平成 18 年度	杉山 佳生 伊藤 信之 工藤 和弘 庄田 直樹	"	アイスキャンドル in 琴似(1 月)		テニス部
平成 19 年度	杉山 佳生 伊藤 信之 高橋 利幸	高木 善人	パークゴルフ大会(8 月)/ボウリング大会・アイスキャンドル in 琴似(1 月)/琴似中学校開校 60 周年	女子バレー部	卓球部
平成 20 年度	杉山 佳生 伊藤 信之 高橋 利幸 有田 隆司	遊佐 勇人	野球部&サッカー部、中体連全市大会アベック優勝!(琴似 中の歴史で初の快挙)	男子バレー部	野球部
平成 21 年度	伊藤 信之 有田 隆司 水間 和之	大本 衛	八軒地区おやじチームとソフトボール交流試合(9 月)/第 10 回ミニバレー記念大会(12 月)/おやじの会 10 周年記念祝 賀会(3 月)	吹奏楽部	サッカー部
平成 22 年度	伊藤 信之 有田 隆司 水間 和之 大井 一雄	"	観桜会(5 月)/第 10 回三角山記念登山(7 月)/西区ふれ あいソフトボール大会優勝!/全日本合唱コンクール全国大 会金賞受賞(10 月西宮)/高橋校長送別ミニバレー大会& 歓送会(3 月)	男女バスケット部	テニス部
平成 23 年度	伊藤 信之 水間 和之 大井 一雄	"	琴似神社祭バトロールスタート(5 月)/西区ふれあいソフトボ ール大会二連覇!/おやじの一日講師が 10 年目(11 月)/ふ れコン・豚汁・ミニバレー・忘年会のスペシャルデー決行(12 月)	野球部	合唱部
平成 24 年度	伊藤 信之 水間 和之 大井 一雄	田中 聡	ことこの日に協力参加(5 月)/琴似神社祭バトロール(5 月)(9 月)実施/山の手ピアース結成(6 月)/三角山登山が 雨天中止〜登山部羊蹄山踏破(10 月)/豚汁交流会に大 真鍋登場(1 月)	バドミントン部	吹奏楽部
平成 25 年度	水間 和之先生 平成 26 年 3 月 祝!ご退職	"	「輝け!おやじ With 陸上部三角山登山」(10 月)/合唱部 第 80 回 Nコン及び全日本合唱コン北海道大会で金賞!10 月 14 日 NHK ホールより LIVE 中継&10 月 27 日広島県 福山市の全国大会出場	サッカー部	男子バスケット部
平成 26 年度	藤倉 悟	今野 亨	おやじ農園凶作に見舞われ収穫祭中止(8 月)/太田真ちゃ ん、サッカー交流試合で偶然初ゴール!(10 月)/会報誌 200 号発行記念祝賀会(2 月)/思い出詰まった山の手会館老 朽化で建替(3 月)	美術部	卓球部
平成 27 年度	不在	"	ダンス部、全国中学校ダンストリプル選手権北海道大会優勝! 全国大会出場(7 月・東京)/男/バレー各大会で優勝!鉄道部 2 回も歓送開催(7 月・12 月)/New 山の手会館でリフレッ シュ忘年会	テニス部	陸上部
平成 28 年度	内海 力男	"	祝・開校 70 周年記念式典(11 月)、男子バレー 悲願の全 国大会出場(8 月・富山)、合唱部全道金賞で全国大会出 場(10 月・香川)/おやじの会野球部と夢の様な円山球場で 交流試合(10 月)	合唱部	男女バレー部
平成 29 年度	北村 洋史	菅原 友彦	合唱部同声&混声で金賞!混声で全国大会出場(10 月・ 大阪)/バドミントン交流にアテナ五輪代表の中山智香子選 手ゲスト出演(10 月)/やまちゃんおやじ鉄道部・道北名寄ま で遠征(12 月)	吹奏楽部 ダンス部	バドミントン部
平成 30 年度	不在	"	真塩 PJ 第一弾藤棚・ベンチ塗装&豚汁 with 美術部(10 月)/サッカー部交流戦で斎藤さんメモリアルゴール(11 月)/ 真塩 PJ 第二弾 DoHUG(1 月)/津田先生指揮「大地讃 頌」大合唱 with 合唱部(2 月)	バドミントン部	美術部
令和元年度	不在	"	合唱部 第 70 回北海道合唱コンクール北海道支部大会金 賞!(9 月)、平成おやじの会設立 20 周年記念祝賀会(12 月)、令和 2 年だよ 第 2 回ボウリング大会(2 月)、新型コロナ ウィルスにより 2/28~3/6 まで臨時休校!	合唱部	野球部

琴似中学校平成おやじの会会則(略)

- (名称) 第1条 本会は琴似中学校平成おやじの会（以下「本会」という）という。
- (目的) 第2条 本会は、家庭・地域・学校の教育力向上を願い、父親たちの意識高揚を図ることを目的とする。
- (活動) 第3条 本会は、前項の目的を達成するために次の活動を行う。
- (1) 会員相互の協調と健康の向上に関する事
 - (2) 学校、地域の教育的環境の整備促進に関する事
 - (3) その他本会の目的を達成するために必要と認める事項
- (会員) 第4条 本会の会員は以下のとおりである。
- (1) 普通会員 子供が琴似中学校に在籍する父親及び琴似中学校の教職員で、所定の会費を前納するもの
 - (2) O B 会員 子供が琴似中学校に在籍終了の父親及び普通会员の経歴を過去に持つもので、所定の会費を前納するもの
 - (3) 賛助会員 所定の会費を前納するもの（企業・団体を含む）
- (入会) 第5条 本会の会員になろうとするものは入会申込書を提出するものとする。
- (役員) 第6条 本会に次の役員をおく。会長1名 副会長2名 広報委員長1名 広報副委員長1名 環境委員長1名 環境副委員長1名 交流委員長1名 交流副委員長1名 会計1名 会計監査2名
- (中略)
- (施行細則) 第16条 この会則の施行について必要な事項は、会長が役員会の議決を経て、別に定める。
- [付則] 第1条 本会は教育的中立を守り、純粋に「おやじの会」として独立した組織運営を行う。
- 第2条 本会則は平成13年4月28日より施行する
- 第3条 普通会员及びO B 会員の会費は年額2,000円とする。
- 第4条 賛助会員の会費は1口1,000円、1口以上とする

※平成13年4月28日 改正 ※平成14年4月27日改正 ※平成15年4月26日 改正

◆編集後記：令和元年度の平成おやじの会の活動の様子が冊子として形になりました。今年度も先輩達のご指導のもと、多くの活動を通して、地域や学校、子供達の様子を詳しく知ることができました。また、設立20周年という節目の年を迎え、記念祝賀会が盛大に開催され、設立当時から現在に至るまで本会の活動を支えていただいた諸先輩や先生方にも多数ご参加いただき、あらためて本会の意義や皆様の熱意を感じることができました。元号は変わりましたが、同じ思いを持った仲間と貴重な経験を共有できる本会の活動が、変わることなく今後も継続的に行われることを願っております。（高橋）

札幌市立琴似中学校 平成おやじの会 会誌「柏葉」

発行日 2020年3月31日

発行者 平成おやじの会広報委員会

発行所 琴似中 〒063-0004 札幌市西区山の手4条2丁目 ☎011-611-1351

印刷 琴似中

表紙 塚本 直哉

落丁・乱丁本は上記にご連絡ください。お取り替えいたします。